



消 防 年 報

令 和 7 年 版



い ち き 串 木 野 市 消 防 本 部

(令 和 8 年 刊 行)

はじめに

この年報は、いちき串木野市消防本部の現況及び令和7年度における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介し、理解と協力を得るため編集したものであります。

なお、この年報の統計資料は、原則として暦年をもって表し、予算に関する事項については、会計年度で作成し、それ以外のものについては、当該表にそれぞれ記載した年月日をもって表してあります。

令和8年6月

いちき串木野市消防本部

目 次

I 総 括

1	いちき串木野市の位置・概要	1
2	市域の変遷	2
3	消防の沿革	2～4
4	歴代消防長（いちき串木野市消防本部）	4

II 総 務

1	いちき串木野市消防本部・消防署の組織	5
2	消防本部・消防署・分遣所の事務分掌	6～7
3	いちき串木野市消防現勢分布図	8
4	消防庁舎等施設の状況	
(1)	消防本部（署）・分遣所	9
(2)	消防団	9
5	令和7年度 of 主な行事	10
6	消防予算	
(1)	消防予算の内訳	11
(2)	市総予算と消防予算	12
(3)	消防予算と人口・世帯数との比較	12
7	人事・教養	
(1)	消防職員の配置状況	13
(2)	消防職員の階級別年齢構成	13
(3)	消防職員の階級別勤続年数構成	14
(4)	消防職員研修状況	14
8	消防団	
(1)	消防分団所轄区域、定員及び幹部名	15
(2)	消防団員の階級別勤続年数構成	16
(3)	消防団員の階級別年齢構成	16
(4)	消防団員出場状況	17
(5)	消防団員の報酬等	17
9	いちき串木野市消防連合後援会	18
10	表 彰	18

III 予防・危険物

1	防火対象物の状況	19
2	防火対象物階層別状況（4階以上・棟数）	20
3	建築同意事務等処理状況	
(1)	建築同意状況	21
(2)	専用住宅建築確認通知状況	21
4	消防用設備等設置検査実施状況	21
5	消防法関係届出状況	22

6	火災予防条例関係届出状況	23
7	防火啓発状況	24
8	危険物施設の状況	24
9	危険物関係許可・検査処理状況	25
10	危険物施設の立入検査状況	25
11	液化石油ガス等の保安指導状況	26
12	串木野国家石油備蓄基地の概要	27
13	消防協力団体の結成状況	
(1)	いちき串木野市幼少年婦人防火委員会	28
(2)	幼年消防クラブ	28
(3)	女性防火クラブ	28
(4)	防火管理協会	29
(5)	危険物安全協会	29

IV 火災・救急・救助

1	令和7年中の火災発生状況	30
2	火災統計	
(1)	令和7年中の火災状況	31
(2)	過去5年間の年別火災概要	32
(3)	過去5年間の原因別火災発生件数	32
(4)	過去5年間の月別火災発生件数	33
(5)	過去5年間の曜日別火災発生件数	33
(6)	過去5年間の時刻別火災発生件数	34
(7)	火災発生時の気象状況	35
3	救急業務統計	
(1)	救急業務取扱状況	36
(2)	傷病程度別搬送状況	36
(3)	疾病分類別搬送状況	37
(4)	搬送別状況	37
(5)	覚知別出場状況	37
(6)	居住地別搬送状況	37
(7)	救急救命処置実施状況	37
(8)	救命処置実施状況	37
(9)	月別救急出場状況及び搬送人員の状況	38
(10)	曜日別救急出場状況	39
(11)	現場到着所要時間別出場件数	39
(12)	収容所要時間別搬送人員	39
(13)	時間別出場状況（総件数及び急病件数）	40
(14)	市別搬送状況（搬送先）	40
(15)	救急出場件数の推移	41

(16) 過去5年間の救急出場状況	4 1
(17) 年齢別搬送人員状況	4 2
(18) 各比率	4 2
4 救助業務統計	
(1) 救助出動状況	4 3
(2) 過去5年間の救助出動状況	4 3
5 応援協定等の締結状況	4 4

V 機械・水利

1 基準消防力と現有消防力との比較	
(1) 消防本部（署）	4 5
(2) 消防団	4 5
(3) 消防職・団員と市民との割合	4 5
2 消防機械器具及び水利状況	
(1) 消防署の消防車両状況	4 6
(2) 消防団の消防車両及び小型ポンプの状況	
ア 串木野地域	4 7
イ 市来地域	4 8
(3) 署・各分団のホース保有状況	4 9
(4) 消防資機材の保有状況	5 0
(5) 消火薬剤等の保有状況	5 1
(6) 原子力防災資機材の保有状況	5 1
(7) 消防水利の状況（消防水利の基準に適合しないものも含む）	
ア 串木野地域	5 2
イ 市来地域	5 3
(8) 消防無線の状況	
ア 串木野地域	5 4
イ 市来地域	5 5

VI 気 象

1 気象観測の状況	5 6
2 風向の状況	5 7

VII 付 録

1 消防の沿革（串木野市消防本部）	5 8～6 3
2 歴代消防長（串木野市消防本部）	6 4
3 歴代消防団長	
(1) 旧串木野市	6 5
(2) 旧市来町	6 5
(3) いちき串木野市	6 5

I 総括

面積 112.30km²

人口 25,169人

世帯数 13,059世帯

(令和8年4月1日現在)

1 いちき串木野市の位置・概要

いちき串木野市は、薩摩半島の北西部にあり、西に白砂青松が続く吹上浜の海岸線を臨み、東に徐福伝説の霊峰冠嶽を控える、海・山・温泉などの自然と温暖な気候に恵まれた風光明媚な場所に位置し、また、3つの駅・2箇所的高速インターなど生活環境と利便性にも恵まれたまちである。

そして、縄文後期に人々が漁労や狩猟をして生活を営み、広い範囲にわたって人と物と情報の交流をしていたことを示す県指定文化財の市来貝塚や、徐福伝説とともに薩摩における山岳仏教の中心地として発展してきた冠嶽、さらに、江戸時代の陸上交通において九州筋の宿場として、また海上輸送の一中心地として物資等の集散地となり、宿場町と商業の地として栄える一方、金鉱業と遠洋まぐろ漁業のまちとして栄えてきたという、これまでに累々と積み重ねられた歴史と、そこから生まれた文化がある。

また、我がまちは、1865年薩摩藩英国留学生19名が近代日本の礎を築くため翔ばたい黎明の地でもあり、私たちがこの勇敢な先達の思いを胸に、今再びこの地から21世紀の夢を発信しているところである。

◎ 消防本部の位置 東経130度16分27秒

北緯31度42分30秒



2 市域の変遷

年 月 日	事 項	面 積 (km ²)	人 口			世 帯 数
			計	男	女	
明治 22. 4. 1	冠岳村、上名村、下名村、荒川村、羽島村の 5 ケ村が合併して串木野村となる。	79.60	—	—	—	
明治 22. 4. 1	湊村、大里村、川上村が合併して、西市来村となる。					
昭和 5. 4. 1	町制施行 (西市来村⇒市来町)		8,290			
昭和 10. 4. 1	町制施行 (串木野村⇒串木野町)	79.60	24,637	11,727	12,910	5,501
昭和 25.10. 1	市制施行 (串木野町⇒串木野市)	79.60	33,884	16,483	17,401	7,182
平成 17.10.11	串木野市、市来町の 1 市 1 町で合併し、いちき串木野市となる。	112.02	33,087	15,516	17,571	13,601

3 消防の沿革

平成 17 年 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村合併 (串木野市と市来町) により新市「いちき串木野市」誕生 ○いちき串木野市消防本部・消防署・いちき分遣所発足 (条例定数 48 名) ○初代消防長 野田 豊 就任 ○職員 8 名 (日置地区消防組合職員 3 名・旧串木野市役所職員 1 名・旧市来町役場職員 4 名) が転任、実員 45 名となる。いちき分遣所に 12 名を配置する。 ○串木野市消防団と市来町消防団は、合併により 1 団を形成し、「いちき串木野市消防団」となる。(団長 1 名、副団長 4 名、13 分団、定数 299 名) ○救急 3 号車運用開始 (国分地区消防組合より譲渡を受け)
平成 18 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ○中央・照島分団に消防ポンプ自動車 (日野) を購入 (更新) (平成 17 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ○第 2 代消防長 内屋照男 就任 ○消防職員 5 名採用 (実員 48 名)
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ○高規格救急車 (日産) を購入し、12 月 23 日運用開始 (いちき分遣所配置換え) (平成 18 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成 19 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ○消防署に消防ポンプ自動車 (日野・CD-I 型) を購入 (更新) (平成 18 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ○中央分団に小型ポンプ (B-3 級) を購入 (更新) (平成 19 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成 20 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ○川南分団に消防ポンプ自動車 (日野) を購入 (更新) (平成 19 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) ○羽島分団に小型動力ポンプ付積載車 (日産) を購入 (更新) (平成 19 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ○消防職員 2 名採用 (消防吏員 1 名、その他職員 1 名) (実員 48 名)
平成 21 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> ○川上分団に消防ポンプ自動車 (日野) を購入 (更新) (平成 20 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成 22 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ○旭分団に消防ポンプ自動車 (日野) を購入 (更新)
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ○消防職員 2 名採用 (実員 48 名) ※その他職員から消防吏員に転任 (1 名) ○第 3 代消防長 池田 豊 就任

平成23年	2月	○鹿児島県消防学校から救助工作車（三菱）の譲渡を受け、消防署に配置 ○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野・水-II型）を購入（更新） （平成22年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4月	○消防職員1名採用（実員48名）
平成24年	4月	○第4代消防長 深山龍朗 就任 ○消防職員1名採用（実員48名）
	12月	○荒川・冠岳分団に小型ポンプ搭載消防自動車（トヨタ）を購入（更新） （平成24年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成25年	4月	○消防職員1名市役所へ出向 市役所職員1名消防本部に事務職員として出向（実員48名）
	12月	○羽島分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新） （平成25年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成27年	2月	○本浦分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入（更新） （平成26年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○中央分団に小型動力ポンプ付積載車（トヨタ）を購入（更新） （平成26年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4月	○第5代消防長 原菌照明 就任
平成28年	1月	○消防署に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新） （平成27年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	2月	○照島分団に小型動力ポンプ付積載車（トヨタ）を購入（更新） （平成27年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	3月	○消防救急デジタル無線の整備完了（施工業者：㈱九電工）
	4月	○消防職員1名採用（実員48名）
	11月	○消防署に救助工作車（日野）を購入（更新） （平成28年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成29年	4月	○第6代消防長 前屋満治 就任 ○消防職員2名採用（実員48名）
	12月	○中央仮設株式会社から広報車の寄贈を受け、消防署に配置
平成30年	2月	○消防署に高規格救急車（トヨタ）を購入（更新） ○消防署に消防指揮車（トヨタ）を購入（更新）
	4月	○消防職員1名市役所へ出向 ○消防職員1名鹿児島県消防学校へ出向 ○消防職員2名採用（実員48名）
平成31年	3月	○日本消防協会より、優良消防団として竿頭綬を授与される。
	4月	○第7代消防長 若松勝司 就任 ○消防職員1名採用（実員47名）
令和2年	4月	○消防職員3名採用（実員48名）
	11月	○ドローン運用アドバイザー研修に消防職員1名を派遣
令和3年	3月	○消防職員1名総務省消防庁からドローン運用アドバイザーに委嘱される ○高機能救命ボートを消防庁から緊援隊資機材として無償貸与を受ける
	4月	○第8代消防長 平石 剛 就任 ○消防職員2名採用（実員48名）

1 1 月	○消防署にはしご車（モリタ）を購入（更新） （令和3年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
令和 4 年 4 月	○第9代消防長 谷口浩貴 就任
令和 5 年 3 月	○消防職員4名採用（実員48名）
	○高規格救急車（トヨタ）を購入（更新） （令和4年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
4 月	○日本消防協会から防災活動車（三菱）の寄贈を受け、消防署に配置
令和 6 年 3 月	○第10代消防長 下池裕美 就任
	○消防職員3名採用（実員49名）
	○高規格救急車（トヨタ）を購入（更新） （令和5年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
令和 6 年 4 月	○総務省消防庁から小型動力ポンプ搬送車の無償貸与を受け、羽島分団に配置
令和 7 年 4 月	○消防職員6名採用（実員51名）
	○第11代消防長 上夷征史 就任
	○消防職員7名採用（実員51名）
令和 8 年 3 月	○高機能エアータント一式を消防庁から緊援隊資機材として無償貸与を受ける
令和 8 年 4 月	○職員定数条例改正6名増員 条例定数54名となる
	○消防職員5名採用（実員52名）

※串木野市消防本部・署の沿革については、Ⅶの付録に記載

4 歴代消防長

いちき串木野市消防本部

代	就任年月	退任年月	氏名
初代	平成17年10月	平成18年3月	野田 豊
第2代	平成18年4月	平成22年3月	内屋 照男
第3代	平成22年4月	平成24年3月	池田 豊
第4代	平成24年4月	平成27年3月	深山 龍朗
第5代	平成27年4月	平成29年3月	原 藺 照明
第6代	平成29年4月	平成31年3月	前屋 満治
第7代	平成31年4月	令和3年3月	若松 勝司
第8代	令和3年4月	令和4年3月	平石 剛
第9代	令和4年4月	令和5年3月	谷口 浩貴
第10代	令和5年4月	令和7年3月	下池 裕美
第11代	令和7年4月	現在	上夷 征史

※串木野市消防本部の歴代消防長については、Ⅶの付録に記載

Ⅱ 総 務

常備消防 1 消防本部 1 消防署 1 分遣所

消防職員 52名 (平均年齢 37.9歳)

(令和8年4月1日現在)

消 防 団 1 消防団 12分団

消防団員 225名 (平均年齢 52.2歳)

(令和8年4月1日現在)

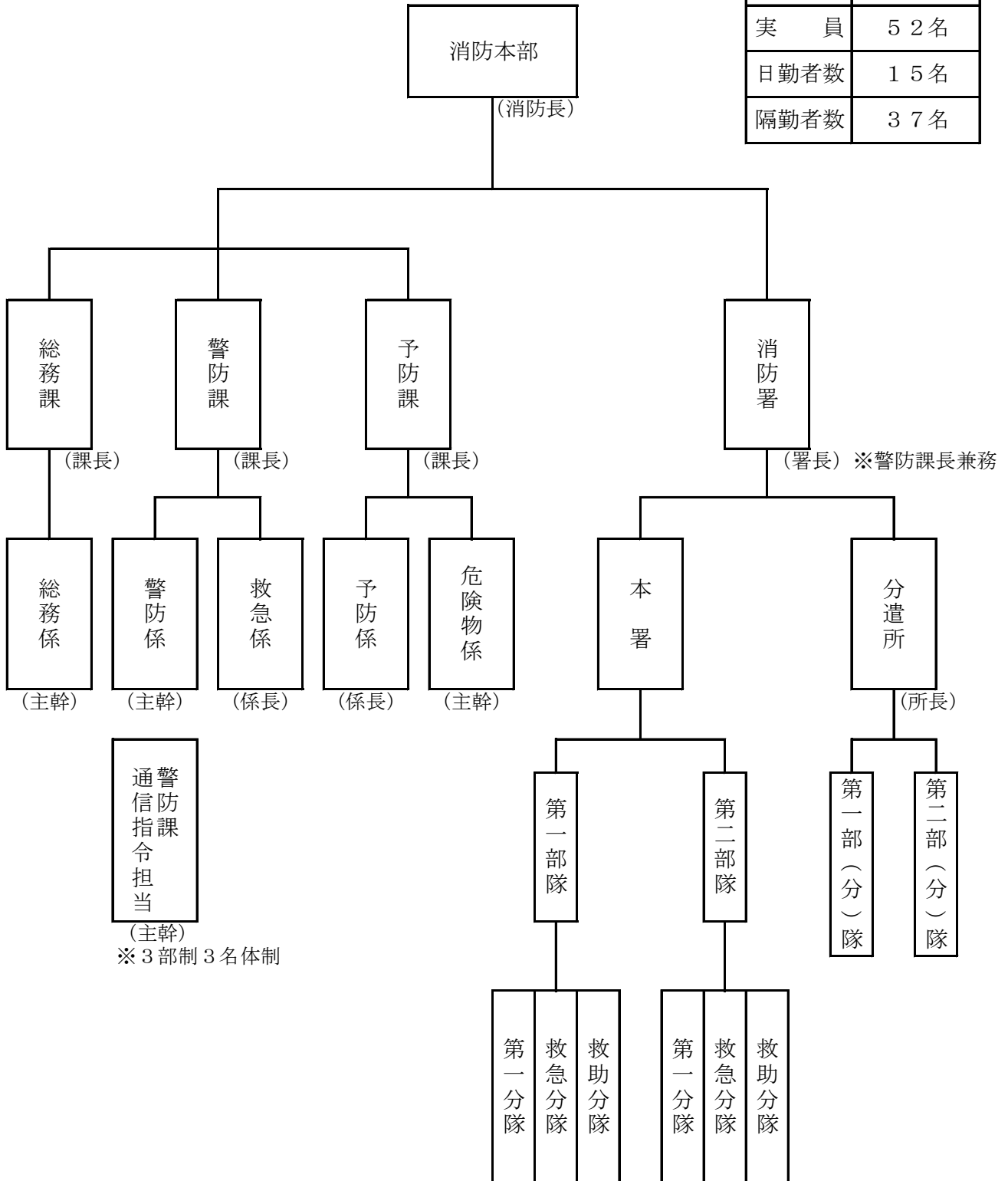
令和7度消防予算 953,603千円

(住民1人当り 37,888円)

いちき串木野市消防本部・消防署の組織

令和8月年4月1日現在

条例定数	54名
実員	52名
日勤者数	15名
隔勤者数	37名



2 消防本部・消防署・分遣所の事務分掌

<消防本部>

【総務課】

○ 総務係

- (1) 職員の人事及び組織に関すること。
- (2) 職員の服務に関すること。
- (3) 職員の階級、任免、分限及び懲戒に関すること。
- (4) 公務災害補償及び消防賞じゅつ金に関すること。
- (5) 予算の編成及び執行に関すること。
- (6) 物品の購入、保管及び処分に関すること。
- (7) 職員及び団員の被服及び貸与品に関すること。
- (8) 公有財産に関すること。
- (9) 公印の保管に関すること。
- (10) 文書の受発、編さん及び保存に関すること。
- (11) 条例、規則、規程等の制定及び改廃に関すること。
- (12) 職場及び職員の安全管理並びに衛生管理に関すること。
- (13) 職員の教養、研修等の総括に関すること。
- (14) 情報公開に関すること。
- (15) 消防年報及び消防統計に関すること。
- (16) 消防表彰に関すること。
- (17) 職員及び団員の福利厚生に関すること。
- (18) 会議及び儀式に関すること。
- (19) 消防協会及び消防学校に関すること。
- (20) 消防職員委員会に関すること。
- (21) 消防手数料等の収納に関すること。
- (22) 消防長会に関すること。
- (23) 消防連合後援会に関すること。
- (24) 消防団員互助会に関すること。
- (25) 消防団事務に関すること。
- (26) 他の係に属さないこと。

【予防課】

○ 予防係

- (1) 火災予防の企画に関すること。
- (2) 火災予防査察に関すること。
- (3) 建築同意事務に関すること。
- (4) 消防用設備等に係る検査及び指導に関すること。
- (5) 火災の調査、統計、報告及び証明に関すること。
- (6) 防火管理者の指導及び育成に関すること。
- (7) 防火管理協会及び幼少年婦人防火委員会に関すること。
- (8) その他火災予防に関すること。

○ 危険物係

- (1) 危険物施設の許認可及び検査並びに指導に関すること。
- (2) 危険物の仮貯蔵及び仮取扱いの承認に関すること。
- (3) 危険物施設の予防査察に関すること。
- (4) 液化石油ガス販売事業の意見書に関すること。
- (5) 石油コンビナート等特別防災区域の指導に関すること。
- (6) 火薬類取締法（昭和 25 年法律第 149 号）の規定に基づく煙火の消費に関すること。
- (7) 危険物安全協会に関すること。
- (8) その他危険物に関すること。

【警防課】

○ 警防係

- (1) 消防計画及び各種防災計画に関すること。
- (2) 火災その他の災害等の警戒及び防御に関すること。
- (3) 災害統計（火災、救急統計を除く。）及び報告に関すること。
- (4) 消防応援協定に関すること。
- (5) 職員及び団員の警防関係教育訓練に関すること。
- (6) 消防施設、装備等の整備計画及び維持管理に関すること。
- (7) 国庫補助金、石油交付金等に関すること。
- (8) 気象、防災情報等の収集、伝達及び広報に関すること。
- (9) 消防無線及び防災行政無線に関すること。
- (10) 消防用燃料の受払いに関すること。
- (11) 救助及び潜水業務に関すること。
- (12) その他警防に関すること。

○ 救急係

- (1) 救急業務に関すること。
- (2) 救急の統計、報告及び証明に関すること。
- (3) 職員の救急教育訓練に関すること。
- (4) 救急資機材の維持管理に関すること。
- (5) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (6) 医師会、医療機関等との連絡調整に関すること。
- (7) その他救急に関すること。

<消防署>

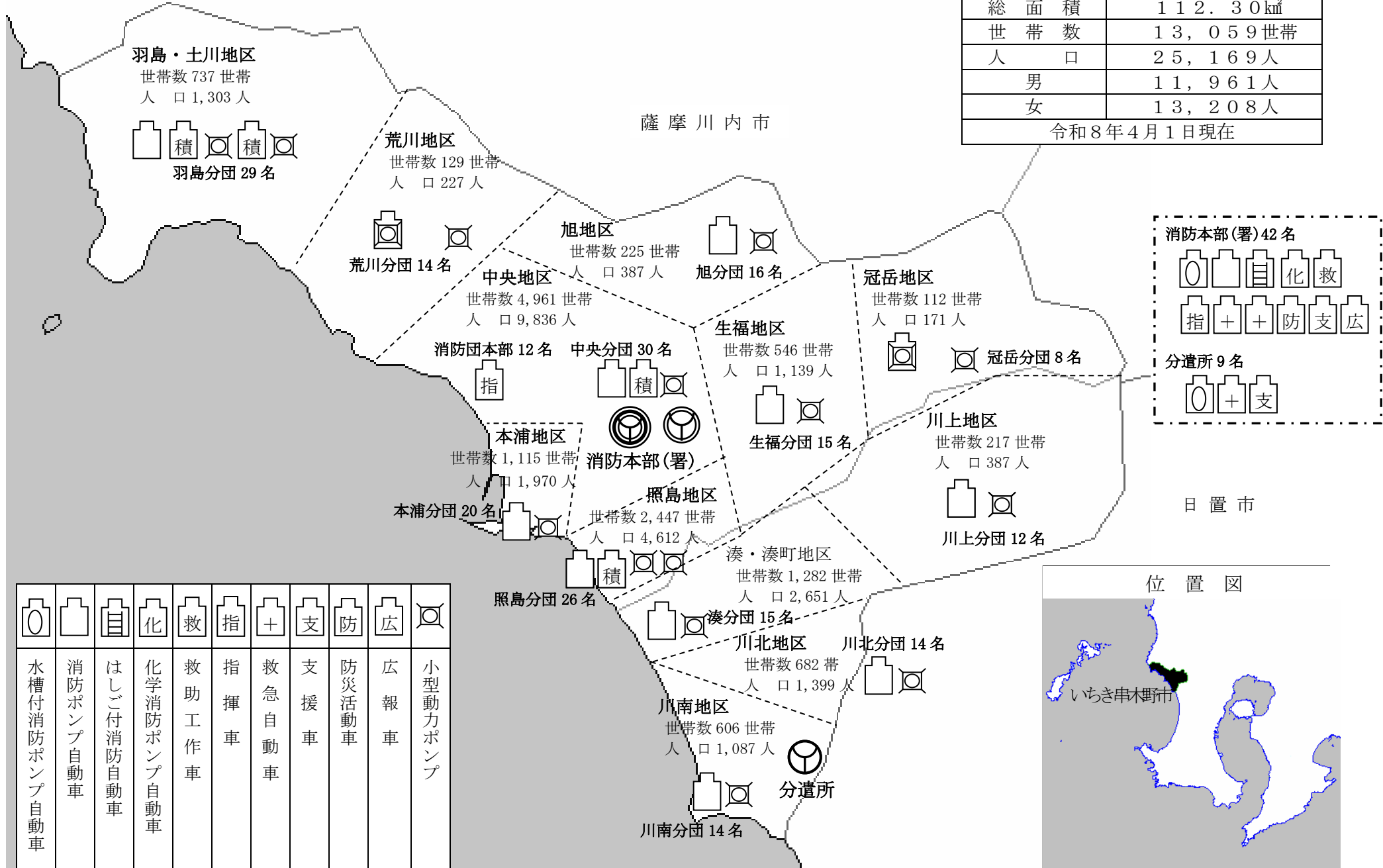
- (1) 消防通信及び受付事務に関すること。
- (2) 火災、救急、救助、風水害等の災害活動に関すること。
- (3) 火災その他の災害の警戒に関すること。
- (4) 署内の会議に関すること。
- (5) 署長会に関すること。
- (6) 防火広報、予防及び警防査察の実施に関すること。
- (7) 署員及び団員の訓練に関すること。
- (8) 消防水利及び地理調査に関すること。
- (9) 防火対象物の訓練指導に関すること。
- (10) 防火協力団体等の指導育成に関すること。
- (11) 気象、防災情報及び火災警報等に関すること。
- (12) 応急手当の普及に関すること。
- (13) 空地及び空家の管理指導に関すること。
- (14) 住宅等の火災予防に関すること。
- (15) 消防資機材の出納及び保管に関すること。
- (16) その他消防業務の実施に関すること。

【分遣所】

- (1) 受付事務に関すること。
- (2) 火災、救急、救助、風水害等の災害活動に関すること。
- (3) 火災その他の災害の警戒に関すること。
- (4) 防火広報、予防及び警防査察の実施に関すること。
- (5) 消防水利及び地理調査に関すること。
- (6) 防火対象物の訓練指導に関すること。
- (7) 防火協力団体等の指導育成に関すること。
- (8) 応急手当の普及に関すること。
- (9) 空地及び空家の管理指導に関すること。
- (10) 住宅等の火災予防に関すること。
- (11) その他消防業務の実施に関すること。

3 いちき串木野市消防現勢分布図

総面積	112.30km ²
世帯数	13,059世帯
人口	25,169人
男	11,961人
女	13,208人
令和8年4月1日現在	



消防本部(署)42名

指 + + 防 支 広

分遣所9名

指 + 支

水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	はしご付消防自動車	化学消防ポンプ自動車	救助工作車	指揮車	救急自動車	支援車	防災活動車	広報車	小型動力ポンプ



4 消防庁舎等施設の状況

(1) 消防本部（署）・分遣所

所 管	所 在 地	構 造	敷地面積㎡	建 築 面 積 等 ㎡	建 築 年 月
消 防 本 部 消 防 署	昭和通 133 番地 1	鉄筋コンクリート造 2 階建	1,603.54	庁舎建築面積 618.80 庁舎延面積 1,020.76 訓練塔(5 階建)延 80.0 消毒室 16.41	着工 S58.7.27 竣工 S59.3.20 増改築 H4.10.22 R6.2.28 消毒室 R7.9.30
い ち き 分 遣 所	大里 11 番地 2	鉄筋コンクリート造 2 階建	3,160.00	庁舎建築面積 301.62 庁舎延面積 414.32 訓練塔 25.00	完成 S57.9.28 増改築完成 H11.3.3 完成 H14.11.20

(2) 消防団

所 管	所 在 地	構 造	敷地面積㎡	建 築 面 積 等 ㎡	建 築 年 月
中 央 分 団	旭町 1 番地 2	鉄筋コンクリート造 2 階建	227.02	建 築 面 積 69.08 延 面 積 118.28	H5.3
本 浦 分 団	西浜町 1 番地	鉄筋コンクリート造 2 階建	165.29	建 築 面 積 52.79 延 面 積 86.00	H12.3
照 島 分 団	東島平町 417 番地 1	鉄筋コンクリート造 2 階建	167.65	建 築 面 積 64.71 延 面 積 120.08	H8.3
羽 島 分 団	羽島 5218 番地	鉄筋コンクリート造 2 階建	羽島交流セ ンター 敷地内	建 築 面 積 89.25 延 面 積 120.74	H9.3
	(土川班) 羽島 9675 番地	鉄筋コンクリート造 平屋建		建 築 面 積 40.80 床 面 積 40.80	
荒 川 分 団	荒川 2450 番地 1	鉄筋コンクリート造 平屋建	荒川小学校 敷地内	建 築 面 積 72.00 床 面 積 72.00	H6.3
旭 分 団	金山 14103 番地 15	鉄骨造平屋建	旭交流セ ンター 敷地内	建 築 面 積 72.00 床 面 積 72.00	H7.2
生 福 分 団	生福 6660 番地 1	鉄筋コンクリート造 2 階建	452.33	建 築 面 積 72.96 延 面 積 130.08	H17.3
冠 岳 分 団	冠岳 12984 番地 2	鉄筋コンクリート造 2 階建	231.38	建 築 面 積 37.50 延 面 積 75.00	H7.3
資 材 倉 庫	東島平町 26 番地 (旧照島分団車庫)	鉄骨スレート造 平屋建	129.80	建 築 面 積 62.65 延 面 積 62.65	S50.9
湊 分 団	湊町 1 丁目 252 番地	鉄筋コンクリート造 2 階建	1,128.79 のうち一部	建 築 面 積 81.52 延 面 積 136.80	S58.3
川 南 分 団	大里 705 番地 11	鉄骨造 H 型 2 階建	230.57	建 築 面 積 53.38 延 面 積 106.76	S61.12
川 北 分 団	大里 5631 番地	鉄骨造 2 階建	595.31	建 築 面 積 53.535 延 面 積 107.07	H4.12
川 上 分 団	川上 1171 番地	鉄骨造 H 型 2 階建	1,505.02 のうち一部	建 築 面 積 48.19 延 面 積 96.38	S62.11

5 令和7年度の主な行事

4月	4日	鹿児島県消防協会日置支部総会（いちき串木野市）
	8日	鹿児島県消防長会春季総会（垂水市 9日まで）
	11日	第1回消防幹部会議（市防災センター）
	17日	鹿児島県消防関係者功労者表彰式及び消防大会（鹿児島県庁）
	23日	全国消防長会九州支部総会（佐賀市）
5月	23日	第47回鹿児島県消防救助技術指導会（県消防学校）
7月	18日	第53回九州地区消防救助技術指導大会（沖縄県）
	23日	北薩地区消防長連絡協議会（出水市消防本部）
8月	7日	消防職員委員会（消防本部会議室）
10月	9日	第2回消防幹部会議（市防災センター）
	26日	県消防協会日置支部研修視察（横浜市 29日まで）
	28日	鹿児島県石油コンビナート等総合防災訓練（串木野国家石油備蓄基地）
11月	6日	鹿児島県消防長会秋季総会（薩摩川内市）
	8日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（大分県）
	9日	秋季火災予防運動（15日まで）
	18日	全国消防長会九州支部消防長研修会（宮崎市）
	27日	大規模石油備蓄基地所在消防本部連絡協議会秋季幹事会（愛媛県今治市）
	29日	いちき串木野市総合防災訓練（生福地区）
12月	5日	第3回消防幹部会議（市防災センター）
	8日	年末年始特別警戒及び安心安全運動出発式（串木野漁港）
	19日	鹿児島県消防協会日置支部年末打合せ会（いちき串木野市）
	28日	消防団年末夜警（市内全域：29日まで）
1月	11日	令和8年消防出初式（市多目的グラウンド）※荒天中止
2月	4日	第4回消防幹部会議（市防災センター）
	6日	鹿児島県原子力防災訓練（羽島地区他）
	17日	北薩地区消防長連絡協議会職員研修会（出水市）
3月	1日	春季火災予防運動（7日まで）

6 消防予算

(1) 消防予算の内訳 (当初予算)

(単位：千円)

款・項・目	節	令和6年度	令和7年度	比較増減
9. 消防費		782,632	953,603	170,971
1. 消防費		782,632	953,603	170,971
	1. 常備消防費	407,433	414,714	7,281
	給料	186,594	187,715	1,121
	職員手当等	124,806	127,437	2,631
	共済費	63,438	64,467	1,029
	報償費	29	29	0
	旅費	1,541	1,494	△ 47
	需用費	13,014	12,793	△ 221
	役務費	4,794	5,832	1,038
	委託料	1,181	1,195	14
	使用料及び賃借料	1,058	1,060	2
	原材料費	29	29	0
	備品購入費	4,805	6,774	1,969
	負担金、補助及び交付金	5,559	5,526	△ 33
	補償、補填及び賠償金	1	1	0
	公課費	581	362	△ 219
	2. 消防団費	55,531	68,237	12,706
	報酬	32,958	32,158	△ 800
	共済費	6,363	6,363	0
	災害補償費	100	100	0
	報償費	8,720	8,284	△ 436
	旅費	153	309	156
	需用費	4,810	8,701	3,891
	役務費	824	1,052	228
	使用料及び賃借料	62	122	60
	原材料費	6	6	0
	備品購入費	428	9,862	9,434
	負担金、補助及び交付金	851	864	13
	補償、補填及び賠償金	1	1	0
	公課費	255	415	160
	3. 消防施設費	16,382	31,096	14,714
	賃金	0	0	0
	需用費	2,959	3,745	786
	役務費	157	163	6
	委託料	9,416	9,499	83
	使用料及び賃借料	4	4	0
	工事請負費	0	10,000	10,000
	原材料費	11	11	0
	備品購入費	0	30	30
	負担金、補助及び交付金	3,835	7,644	3,809
	4. 水防費	74	168	94
	5. 災害対策費	303,212	439,388	136,176

(2) 市総予算と消防予算（当初予算）

(単位：千円)

区分 年度別	市 総 予 算	消 防 予 算	割 合 (%)	消 防 予 算 内 訳									
				常 備 消 防 費	割 合 (%)	消 防 団 費	割 合 (%)	消 防 施 設 費	割 合 (%)	水 防 費	割 合 (%)	災 害 対 策 費	割 合 (%)
R1	17,287,000	991,142	5.7	410,057	41.4	58,825	5.9	15,180	1.5	80	0.01	507,000	51.2
R2	16,010,000	526,824	3.3	417,071	79.2	63,618	12.1	21,088	4.0	80	0.02	24,967	4.7
R3	16,355,000	789,638	4.8	632,420	80.1	116,222	14.7	14,130	1.8	78	0.01	26,788	3.4
R4	16,432,000	612,800	3.7	447,245	73.0	87,211	14.2	12,986	2.1	78	0.01	65,280	10.7
R5	16,742,000	603,188	3.6	431,504	71.5	55,236	9.2	79,609	13.2	76	0.01	36,763	6.1
R6	17,453,000	782,632	4.5	407,433	52.1	55,531	7.1	16,382	2.1	76	0.01	303,212	38.7
R7	18,883,000	953,603	5.1	414,714	43.5	68,237	7.2	31,096	3.3	168	0.02	439,388	46.1

(3) 消防予算と人口・世帯数との比較（当初予算）

年度	消 防 予 算 (円)	住民一人当たりの 消 防 費 (円)	一世帯当たりの 消 防 費 (円)	人 口 (人)	
				世 帯 数	
R1	991,142,000	35,610	74,803	27,833	
				13,250	
R2	526,824,000	19,208	39,811	27,427	
				13,233	
R3	789,638,000	29,734	60,490	26,557	
				13,054	
R4	612,800,000	23,395	47,095	26,194	
				13,012	
R5	603,188,000	23,395	46,151	25,879	
				13,070	
R6	782,632,000	30,241	59,679	25,551	
				13,114	
R7	953,603,000	37,888	73,023	25,169	
				13,059	

※人口及び世帯数は、各年度の4月1日現在

7 人事・教養

(1) 消防職員の配置状況

(R 8. 4. 1 現在)

階級	区分	実員	消 防 本 部					消 防 署			分 遣 所		
			消 防 長	次 長	課 長	総 務 課	警 防 課	予 防 課	署 長	第 一 部 隊	第 二 部 隊	分 遣 所 長	第 一 部 隊
司令長		1	1										
司令		12			2	1	4	1	1	1	1		
司令補		10					1	1		4	2	1	1
士長		8				1				3	2	1	1
副士長		1										1	
消防士		20								7	10	1	2
その他		0											
合計		52	1	0	2	2	5	2	1	15	15	1	4

注 署長は警防課長を兼務 総務課主幹は総務係長を兼務 警防課主幹は警防係長を兼務
分遣所長は定期的に第1部隊・第2部隊を兼務

(2) 消防職員の階級別年齢構成

(R 8. 4. 1 現在)

階級	年 齢	20	20	25	30	35	40	45	50	55	60	合計	平均年齢
		歳未 満	歳 ～ 24 歳	歳 ～ 29 歳	歳 ～ 34 歳	歳 ～ 39 歳	歳 ～ 44 歳	歳 ～ 49 歳	歳 ～ 54 歳	歳 ～ 59 歳	歳 以 上		
司令長										1		1	57
司令									2	8	2	12	56.3
司令補						1	4	5				10	47.9
士長				2	1	4					1	8	37.9
副士長					1							1	34
消防士		8	10	2								20	21.1
合計		8	10	4	2	4	1	4	7	9	3	52	37.9

(3) 消防職員の階級別勤続年数構成

(R 8. 4. 1 現在)

勤続年数 階 級	5 年 未 満	5年 ～ 9年	10年 ～ 14年	15年 ～ 19年	20年 ～ 24年	25年 ～ 29年	30年 ～ 34年	35 年 以 上	合 計
司令長								1	1
司 令						1	3	8	12
司令補					6	1	3		10
士 長	1	2		3	1			1	8
副士長		1							1
消防士	19	1							20
合 計	20	4	0	3	7	2	6	10	52

(4) 消防職員研修状況

(R 8. 4. 1 現在)

年度別 学 科 別		令和2年 度以前の 実績	令 和 3年度	令 和 4年度	令 和 5年度	令 和 6年度	令 和 7年度	計
消防 大学 校	救 助 科	1		1				2
	警 防 科	2						2
	火 災 調 査 課						1	1
	火 災 調 査 講 習 会	2						2
	新任消防長・学校長科	1			1			2
消 防 学 校	初 任 科	56	2	4	2	6	7	77
	救 急 I 課 程	21						21
	救 急 II 課 程	14						14
	救 急 標 準 課 程	9						9
	救 急 科	24	2	2		2	2	32
	気 管 挿 管 講 習	8						8
	救 助 科	27	1	1	1	1		31
	警 防 科	3		1				4
	予 防 科 (課 程)	7						7
	査 察 課 程	1						1
	予 防 査 察 科 (課 程)	8	1	1	1	1	1	13
	火 災 調 査 科 (課 程)	14	1		1	1	1	18
	初 級 幹 部 科	7			1			8
	中 級 幹 部 科	7	1					8
	無 線 科	1						1
	職 員 指 導 員 科	2						2
梯 子 車 研 修	4						4	
気 管 挿 管 追 加 講 習	8						8	
処 置 拡 大 追 加 講 習	3						3	
実 火 災 体 験 型 研 修					2	2	4	
九 州 研 修 所 救 急 救 命	救 急 救 命 士 研 修	16				1	1	18
	薬 剤 投 与 追 加 講 習	8						8
	指 導 救 命 士 養 成 研 修	3		1				4
	処 置 拡 大 追 加 講 習	2						2
薬 剤 投 与 病 院 実 習								
気 管 挿 管 病 院 実 習	14					1	15	
開 海 発 洋 機 構 研 究	潜 水 業 務 管 理 研 修	2						2
	潜 水 技 術 特 別 研 修	1						1
	潜 水 技 術 指 導 研 修	1						1
消防救急緊急自動車運転技能者研修	1						1	
九州地区(警防/予防)実務研修	6						6	
合 計	284	8	11	7	14	16	340	

8 消防団

(1) 消防分団所轄区域、定員及び幹部名

(R 8. 4. 1 現在)

分団 区分	団 本 部	本 部 付 団 員	中	本	照	羽	荒		生	冠		川	川	川	合
			央	浦	島	島	川	旭	福	岳	湊	南	北	上	計
団 長	1														1
副団長	2														2
分団長			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
副分団長			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
部 長			4	2	3	4	2	2	3	2	2	2	2	2	30
班 長		2	6	4	5	6	4	4	5	1	4	4	4	4	53
団 員		7	18	12	16	17	6	8	5	3	7	6	6	4	115
実 員	3	9	30	20	26	29	14	16	15	8	15	14	14	12	225
定 員	3	10	35	21	27	32	20	20	25	20	22	21	21	20	297
所 轄 区 域			串 木 野 地 区 (本浦分団区域を除く。)	本 浦 地 区	照 島 地 区	羽 島 ・ 土 川 地 区	荒 川 地 区	旭 地 区	生 福 地 区	冠 岳 地 区	湊 ・ 湊 町 地 区	大 里 の う ち 川 南 地 区	大 里 の う ち 川 北 地 区	川 上 地 区	
世帯数			4,961	1,115	2,447	737	129	225	546	112	1,282	606	682	217	13,059
人 口			9,836	1,970	4,612	1,303	227	387	1,139	171	2,651	1,087	1,399	387	25,169
団 長	副団長		分 団 長												
西 村 博 孝	西 ノ 園 隆 仁	石 川 一 仁 (女性消防団員)	上 屋 昭 二	白 石 英 巳	石 野 潤 一	福 永 茂 幸	鮫 島 和 光	芹 ヶ 野 募	宇 都 昭 仁	瀬 戸 口 健 治	前 田 浩 幸	原 口 圭 一	富 永 豊	内 田 徹	

(2) 消防団員の階級別勤続年数構成

(R 8. 4. 1 現在)

階級	勤務年数	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年以上	合計
団長								1		1
副団長									2	2
分団長			1			1	2	3	5	12
副分団長				2	1	3	3	3	3	12
部長			3	2	2	9	8	6		30
班長		3	9	19	11	9	2			53
団員	38	39	25	5	4	1	1	2		115
合計	38	42	38	28	19	24	18	18		225

(3) 消防団員の階級別年齢構成

(R 8. 4. 1 現在)

階級	年齢	24歳以下	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	合計	平均年齢
団長											1	1	67.0
副団長											2	2	70.5
分団長								3		3	6	12	63.0
副分団長								2	3	3	4	12	62.0
部長			1	2		2	4	5	5	5	11	30	59.1
班長			1	1	8	7	10	14	3	9	9	53	53.9
団員	1	4	6	19	19	27	13	9	8	9	9	115	47.0
合計	1	4	8	22	27	36	32	31	22	42	42	225	52.2

(4) 消防団員出場状況

(R7年度)

分団別 出場区分			団本部		中央	本浦	照島	羽島	荒川	旭	生福	冠岳	湊	川南	川北	川上	合計	
			女性 団員															
火災等災害	火災	回数	2	0	2	2	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	9	
		人員	4	0	17	5	11	0	0	0	8	6	0	0	0	0	51	
	風水害等の災害	回数	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
		人員	3	0	8	5	8	10	5	5	5	3	3	4	5	4	68	
	小計	回数	3	0	3	3	2	1	1	1	2	2	1	1	1	1	22	
		人員	7	0	25	10	19	10	5	5	13	9	3	4	5	4	119	
演習訓練等	演習訓練	回数	12	2	18	17	17	18	16	17	18	18	20	17	16	17	223	
		人員	26	10	143	98	116	156	101	102	112	92	134	109	105	106	1,410	
	その他	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	回数	12	2	18	17	17	18	16	17	18	18	20	17	16	17	223	
		人員	26	10	143	98	116	156	101	102	112	92	134	109	105	106	1,410	
その他の	広報指導	回数	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
		人員	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	
	警防調査等	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	特別警戒	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	捜索	回数	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
		人員	3	0	8	5	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	
	その他	回数	22	14	9	8	13	10	8	9	13	7	12	13	9	11	158	
		人員	64	42	36	25	47	46	21	27	38	16	28	35	26	26	477	
	小計	回数	23	25	10	9	14	10	8	9	13	7	12	13	9	11	173	
		人員	67	70	44	30	55	46	21	27	38	16	28	35	26	26	529	
合計	延回数	38	27	31	29	33	29	25	27	33	27	33	31	26	29	418		
	延人員	100	80	212	138	190	212	127	134	163	117	165	148	136	136	2,058		

(5) 消防団員の報酬等

(単位：円)

区分		階級						
		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
報酬	年報酬	143,200	92,500	84,400	46,700	42,700	41,200	39,700
	技術報酬	消防ポンプ車等の機関員 年額15,000 小型動力ポンプ機関員 年額10,000						
出場報酬	災害・訓練等 出動手当	火災・訓練等		1回	1人	5,100円		
		風水害		1回	1人	8,000円		

9 いちき串木野市消防連合後援会

(R 8. 4. 1 現在)

後 援 会 (部) 名	会 (部) 長	役 職 名
中 央 分 団 後 援 会	鮫 島 功	
本 浦 分 団 後 援 会	大 西 隆 志	会 長
照 島 分 団 後 援 会	中 馬 貞 治	
れいめい羽島協議会消防後援部	萩 元 克 紀	
荒川地区まちづくり協議会消防後援部	竹之内 茂美	副 会 長
旭地区まちづくり協議会消防後援部	竹之下 直正	
生 福 分 団 後 援 会	木 場 與 一 郎	
冠岳地区まちづくり協議会消防後援部	川 畑 千 秋	監 事
湊地区まちづくり協議会消防後援会	松 下 良 照	副 会 長
川 南 分 団 後 援 会	宇 都 講 治	監 事
川 北 分 団 後 援 会	藤 田 和 生	
川 上 分 団 後 援 会	前 田 比 佐 子	

10 表 彰 (令和7年度)

- | | | |
|---|--|---|
| <p>(1) 消防庁長官竿頭綬
いちき串木野市消防本部
いちき串木野市消防団</p> <p>(2) 消防庁長官永年勤続功労章
(川南) 小橋口幸生
(湊) 松下春幸</p> <p>(3) 鹿児島県知事表彰
○ 40年勤続章
(団本部) 石川一仁
(湊) 松下春幸

○ 10年勤続章
(冠岳) 瀬戸口健治
(生福) 後 瀧 竜 二
(冠岳) 橋 木 琢 也
(生福) 前 村 将 光
(本浦) 白石浩一朗
(中央) 後 藤 真
(川南) 松 田 健
(照島) 吉 永 努
(川南) 比 良 大 輔
(川南) 北 山 修 太 朗</p> | <p>(4) 鹿児島県消防協会総裁表彰
○ 功績章 (20年以上)
(中央) 木 場 努
(照島) 網 屋 心 一
(羽島) 中 養 母 孝 行
(湊) 白 石 貴 史

○ 精績章 (15年以上)
(本浦) 栗 元 一 貴
(荒川) 星 原 俊 悟
(照島) 須 納 瀬 武 典</p> <p>(5) 鹿児島県消防協会日置支部長表彰
○ 15年勤続章
(荒川) 星 原 俊 悟
(本浦) 黒 岩 雅 之
(川北) 西 久 保 弘 樹
(中央) 久 木 山 竜 也
(羽島) 梶 尚 三
(旭) 高 原 和 敏
(川南) 本 鍋 田 和 孝</p> | <p>(6) いちき串木野市長表彰
○ 10年勤続章
(生福) 大 六 野 弘 輝
(川南) 比 良 大 輔
(川南) 北 山 修 太 朗
(川上) 前 田 隆 正
(羽島) 富 永 裕 介
(川北) 富 永 清 一 郎
(湊) 宮 野 政 也
(旭) 軸 丸 誠 也</p> <p>(7) いちき串木野市長感謝状
○ 20年以上勤続団員の奥様
(照島) 網 屋 由 加 里
(中央) 木 場 亜 紀
(羽島) 中 養 母 ゆ か り
(湊) 白 石 奈 々 恵</p> |
|---|--|---|

Ⅲ 予防・危険物

防火対象物数（法第17条）・・・・・・・・ 1, 107

危険物施設数（法第11条）・・・・・・・・ 119

1 防火対象物の状況

多数の人が利用する建築物は、火災が発生した場合人命危険が大きいので、一定規模以上の建築物については、防火管理者の選任及び消火設備、警報設備、避難設備などの消防用設備等の設置と維持管理が消防法で義務付けられている。(R8. 3. 31現在)

対象物別		区 分	対象物数 (150㎡以上)	防火管理者 が必要な対 象物数 (150㎡未満を 含む)	定期点検が 必要な対 象物数
1 項	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	2	2	2
	ロ	公会堂、集会場	24	21	11
2 項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類			
	ロ	遊技場、ダンスホール	2	2	2
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等	1	1	
3 項	イ	待合、料理店の類			
	ロ	飲食店	22	19	
4 項		百貨店、マーケット、展示場の類	43	25	7
5 項	イ	旅館、ホテル、宿泊所の類	7	4	1
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	197	9	
6 項	イ	(1) 診療科名中に特定診療科目を有し、診療病床又は一般病床を有する病院類	2	2	
		(2) 診療科名中に特定診療科目を有し、四人以上の患者を入院させるための施設を有する病院類	5	3	
		(3) (1)、(2)以外の病院又は入所施設を有する助産所	7	5	
		(4) 患者を入院させるための施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所	14		
	ロ	(1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム類	14	12	1
		(2) 救護施設			
		(3) 乳児院			
		(4) 障害児入所施設			
		(5) 障害者支援施設	4	4	
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター類	9	1	
		(2) 更生施設			
		(3) 保育所、幼保連携認定こども園類	15	6	
		(4) 児童発達支援センター類	2	2	
		(5) 障害者支援施設	9	2	
ニ	幼稚園、特別支援学校	17	4	1	
7 項		小・中・高・大学各種学校の類	85	11	
8 項		図書館、博物館、美術館の類	3	3	
9 項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類			
	ロ	上記以外の公衆浴場	1	1	
10 項		車両の停車場又は船舶、航空機の発着場	1		
11 項		神社、寺院、教会の類	9	3	
12 項	イ	工場、作業場	170	7	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ			
13 項	イ	自動車車庫、駐車場	28		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
14 項		倉庫	114		
15 項		前各項に該当しない事業場	167	17	
16 項	イ	特定防火対象物が存する複合用途対象物	69	47	5
	ロ	上記以外の複合用途対象物	63	8	
16の2 項		地下街			
16の3 項		準地下街			
17 項		重要文化財の類			
18 項		延長50m以上のアーケード	1		
合 計			1,107	221	30

2 防火対象物階層別状況（4階以上・棟数）

（R 8 . 3 . 3 1 現在）

令 別 表 第 一 区 分		4 階	5 階	6 階	1 0 階	合計
4 項	百貨店、マーケット、展示場の類	1				1
		湊町 1				
5 項	ロ 共同住宅・寄宿舍等	39	15			54
		上名 2	大原 1			
		大原 2	照島 13			
		中央 8	湊町 1			
		本浦 5				
		照島 9				
		川北 5				
		湊 4				
		湊町 4				
6 項	イ 病院・診療所等	3				3
		照島 2				
		湊 1				
	ロ 主として要介護状態にある者 又は重度障害等が入所する施設	2	1			3
		中央 1	照島 1			
		川南 1				
7 項	小学校・中学校・高等学校・大学 各種学校等	4	2			6
		照島 4	照島 2			
1 2 項	イ 工場又は作業場	1				1
		荒川 1				
1 4 項	倉庫	1				1
		本浦 1				
1 5 項	前各項に該当しない事業所 （事務所等）	4				4
		中央 1				
		本浦 2				
		羽島 1				
1 6 項	イ 複合用途防火対象物 （特定用途部分を含むもの）	8		1	1	10
		中央 8		上名 1	中央 1	
	ロ 複合用途防火対象物 （特定用途部分を含まないもの）	4				4
		中央 4				
合 計		67	18	1	1	87
地 区 別	上 名	2		1		3
	大 原	2	1			3
	中 央	22			1	23
	本 浦	8				8
	照 島	15	16			31
	羽 島	1				1
	荒 川	1				1
	川 南	1				1
	川 北	5				5
	湊	5				5
	湊 町	5	1			6

3 建築同意事務等処理状況

(1) 建築同意状況

(R7年度)

対象物別 工事種別	一 項 口	四 項	五 項 イ	五 項 ロ	六 項 イ (3)	七 項	一 一 項	一 二 項 イ	一 四 項	一 五 項	一 六 項 イ	一 六 項 ロ	専 用 住 宅	合 計
新 築		2	2	1		1			2	7	4	3	1	23
増 築	1				2		1	2	2	1			1	10
用途変更						1								1
そ の 他														
合 計	1	2	2	1	2	2	1	2	4	8	4	3	2	34

(2) 専用住宅建築確認通知状況

(R7年度)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	6	3	3	4	3	7	7	5	4	4	9	8	63

4 消防用設備等設置検査実施状況

(R7年度)

対象物別 工事種別	五 項 イ	五 項 ロ	六 項 イ (1)	六 項 イ (3)	六 項 ロ (1)	六 項 ロ (5)	7 項	一 二 項	一 四 項	一 五 項	一 六 項 イ	合 計
消 火 器	1	3				1	1	2	1			9
屋内消火栓設備												
スプリンクラー設備						1					1	2
屋外消火栓設備									1			1
動力ポンプ設備												
自動火災報知設備	1					1	1	2	2	1	1	9
消防機関へ通報する 火災報知設備					1	1						2
非常警報器具												
非常警報設備							1					1
避難器具												
誘 導 灯			1	1		1	1	1			1	6
誘 導 標 識		2					1		1			4
消 防 用 水												
合 計	2	5	1	1	1	5	5	5	5	1	3	34

5 消防法関係届出状況

(R 7年度)

区分 対象物別		防火管理者 選任届	防火管理者 届解任	消防計画 作成(変更)届	工事整備対象 設備等着工届	消防用設備等 (特殊消防設備等) 設置届	消防用設備等 点検結果報告	
1項	イ						3	
	ロ	2	1	2		2	21	
2項	イ							
	ロ	1	1				2	
	ハ							
3項	イ							
	ロ	3	3	3			17	
4項		7	5	8		1	36	
5項	イ					1	6	
	ロ	1		1		3	48	
6項	イ	(1)		1	1	1	2	
		(2)					5	
		(3)					1	7
		(4)						15
	ロ	(1)	2	2	2	1	1	17
		(2)						
		(3)						
		(4)						
		(5)	1		1		1	4
	ハ	(1)						6
		(2)						
		(3)					1	11
		(4)						4
		(5)						9
	二	2	1	2			3	
7項		5	3	5	1	4	2	
8項								
9項	イ							
	ロ							
10項								
11項							2	
12項	イ			1	2	4	35	
	ロ							
13項	イ						3	
	ロ							
14項					2	3	21	
15項		4	4	4	2	2	44	
16項	イ	4	4	5	2	2	32	
	ロ						4	
16の2								
16の3								
17項								
18項								
19項								
20項								
合計		32	24	35	11	27	359	

6 火災予防条例関係届出状況

(R7年度)

種別 \ 月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
使用開始届け	3	4	1	1	4	1	3	3	1	1	2		24
ボイラー							1		1			1	3
変電設備								1	2				3
発電設備							1					2	3
改修計画（予防）	6	4	6	7	3	3	10	3	6	1	6	8	63
改修計画（政令）			1	1									2
緩和願い	1		3					1					5
火災と紛らわしい	1		2		1		1	2	9	9	2	1	28
煙火打上げ・仕掛け	1			1	3							2	7
道路工事	10	6	4	14	13	11	18	7	9	9	8	5	114
露店の開設	4	3	1	6	1	2	3	7			1	4	32
小危・指定可貯蔵取扱い						1	1		2			1	5
小危・指定可廃止届													
その他条例関係届出			1	2			1		1			1	6
	26	17	19	32	25	18	39	24	31	20	19	25	295

7 防火啓発状況

(R7年度)

方 法	対 象	回 数	備 考
広 報 車	市 内 全 域	2	春・秋火災予防運動期間中 又は年末年始や行楽シー ズン等の防火上警戒を要 する時に実施
防 災 行 政 無 線	市 内 全 域	2	
広報くしきの(おしらせ版)	市 内 全 家 庭	6	
防 火 ポ ス タ ー 配 布	市 内 各 事 業 所 等	8	
避 難 訓 練 等 指 導	各公民館・各事業所等	202	各公民館、各事業所等から の依頼で実施
防 火 ・ 防 災 座 談 会	各公民館・各事業所等	5	各種会合時、又は公民館等 からの依頼で実施

8 危険物施設の状況

(R8.3.31現在)

施設区分 倍数別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
5倍以下		5	5		10		12					5	37
5倍を越え 10倍以下			2	1	5		1	1	5			8	23
10倍を越え 50倍以下	1	1	15		3				10			5	35
50倍を越え 100倍以下		1	1						6				8
100倍を越え 150倍以下									2				2
150倍を越え 200倍以下									3				3
200倍を越え 1000倍以下			2						1		1		4
1000倍を越えるもの			6								1		7
合 計	1	7	31	1	18		13	1	27		2	18	119

9 危険物関係許可・検査処理状況

(R7年度)

種 別 施設区分	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				計	
		屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給 油	販 売	移 送		一 般
設 置 許 可							1						1
変 更 許 可							1		4				5
完 成 検 査							1		3				4
水 圧 ・ 水 張 検 査													
仮使用（貯蔵取扱）承認													
岩盤タンク定期保安検査													
計							3		7				10

10 危険物施設の立入検査状況

(R7年度)

施 設 別	実 施 施 設 数	立 入 検 査 延 回 数
製 造 所	1	1
屋 内 貯 蔵 所	7	7
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	24	24
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	16	16
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	14	14
屋 外 貯 蔵 所		
給 油 取 扱 所	24	24
販 売 取 扱 所		
移 送 取 扱 所	2	2
一 般 取 扱 所	14	14
計	103	103
少量危険物貯蔵取扱所	35	35

11 液化石油ガス等の保安指導状況

(1) 届出の義務

消防法第9条の3では、火災予防又は消火活動に重大な支障を生ずるおそれのある圧縮アセチレンガス、液化石油ガスその他の物質（毒物、劇物等）を政令で指定し、一定以上の貯蔵又は取扱いをする場合、消防長等に届け出ることを義務づけている。

(2) 消防機関の対応

この届出に対し、消防機関は先ず、火災予防措置として査察指導を行い、火災発生の未然防止を図り、次に万一の火災発生時において、これらの物質から発生する特異かつ重大な危険が付近住民に波及することを防止し、かつ消火活動にあたる消防職員に対する危害を防止するための対策に役立てることを狙いとする。

(3) 液化石油ガス施設等の現況

(R 8 . 3 . 3 1 現在)

物 質	数 量	貯蔵・取扱施設数	備 考
液 化 石 油 ガ ス	3 0 0 kg 以上	2 5 8	
圧縮アセチレンガス	4 0 kg 以上	2	
シアン化ナトリウム	3 0 kg 以上	1	毒 物
硫 酸	2 0 0 kg 以上	2	劇 物
塩 素	2 0 0 kg 以上	1	劇 物

12 串木野国家石油備蓄基地の概要

(1) 概要

位置：いちき串木野市西薩町1番地

用地面積：地上施設地区5ヘクタール
貯油施設地区26ヘクタール

備蓄容量：約175万kL

地下岩盤タンク：3ユニット

常圧貯蔵横穴水封固定水床式
幅1.8m 高さ2.2m

長さ(容量)

55.5m×2 (35万KL) 1ユニット

55.5m×4 (70万KL) 2ユニット

地上荷役施設：操油・用役施設、電気計装施設、公害防止施設、安全防災施設、管理施設等

海上荷役設備：10万DWT級一点係留設備1基、海底原油配管2, 300m

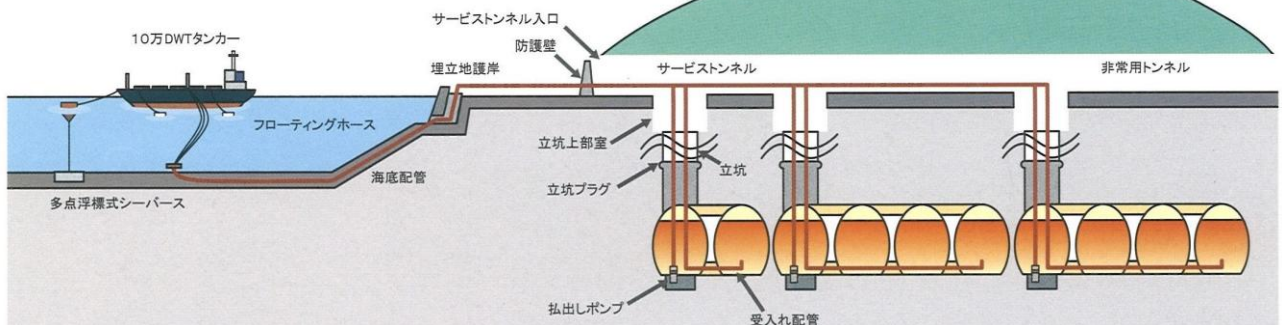
石油コンビナート等特別防災区域指定：平成4年8月28日

串木野基地起工：昭和62年3月31日



(2) 地下岩盤タンクのしくみと水封式地下備蓄の原理

地下石油備蓄施設の概念図

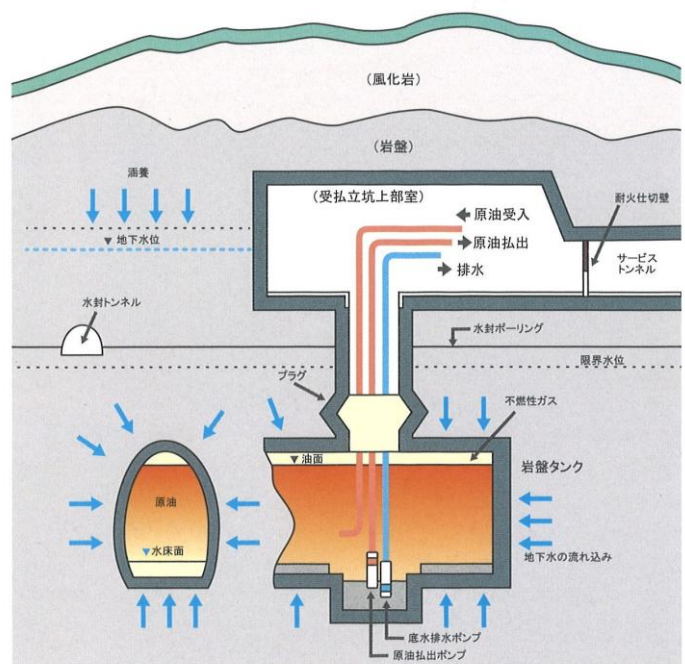


水封式地下備蓄とは、地下水面下の岩盤内に空洞を掘って、空洞内に原油を貯蔵する方式で、空洞を取り巻く自然の地下水に加え、一部水封トンネルから水封水を供給して、空洞の周りの水圧を貯蔵された原油の圧力より高くすることによって、原油の流出を封じるものです

地下水は常に空洞内部へ染み出てきますが、水と油は混じり合わないという性質から、染み出た地下水はタンク底部に溜まり、原油は水の上に浮いた形で貯蔵されます。

岩盤タンクの底部に溜まった地下水は、排水ポンプで汲み上げることによって一定に保たれます。

水封式地下備蓄の原理図



13 消防協力団体の結成状況 (R8. 4. 1現在)

(1) いちき串木野市幼少年女性防火委員会

◎ 結成年月日 昭和55年 5月 1日

◎ 目的

当委員会は、防火・防災に対する地域住民の理解と協力を得るため、その推進の中核となるクラブ等の結成、促進並びに育成強化を図ることを目的とする。

(委員名簿)

役 職 名	氏 名	所 属
会 長	上 夷 征 史	いちき串木野市消防長
委員 (監事)	西 村 博 孝	いちき串木野市消防団長
委 員	若 松 友 子	照島地区女性防火クラブ会長
〃	岩 下 振 一 郎	羽島保育園幼年消防クラブ会長
〃	神 村 慎 二	神村学園附属幼稚園幼年消防クラブ会長
〃	井 上 弘 顕	くしきの森のこども園幼年消防クラブ会長
〃	田 口 太 介	市来幼稚園幼年消防クラブ会長
〃	島 津 知 道	串木野保育園幼年消防クラブ会長

(2) 幼年消防クラブ

◎ 目的

幼年期に消防の研修を行い、火に対する正しい認識を身につけさせ、園及び各家庭の火災の予防を図るとともに、将来、人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地をかん養することを目的とする。

名 称	結 成 年 月 日	人 員
羽島保育園幼年消防クラブ	昭和60年5月20日	65名
会 長 岩 下 振 一 郎		
市来幼稚園幼年消防クラブ	昭和62年5月23日	16名
会 長 田 口 太 介		
神村学園附属幼稚園幼年消防クラブ	平成2年7月16日	158名
会 長 神 村 慎 二		
くしきの森のこども園幼年消防クラブ	平成6年2月19日	121名
会 長 井 上 弘 顕		
串木野保育園幼年消防クラブ	平成28年7月4日	69名
会 長 島 津 知 道		

(3) 女性防火クラブ

◎ 目的

家庭における火災の防止及び地域ぐるみの自主防災体制の確立が図られるよう初期消火等の訓練及び防火研修などを実施し、防火安全体制の確立を図ることを目的とする。

名 称	結 成 年 月 日	人 員
照島地区女性防火クラブ	昭和52年7月23日	1,140名
会 長 若 松 友 子		

(4) 防火管理協会

◎ 目的及び事業

災害予防対策の研究及び消防思想の普及発達に寄与することを目的とし、併せて会員相互の連絡親睦を厚くし、次の事業を行うものとする。

- ア 消防思想の普及高揚及び災害発生時における会員相互の応援業務
- イ 防火消防諸施設の視察研究
- ウ 自衛消防の強化促進
- エ 各種災害の予防対策の研究
- オ 消火器の維持管理の指導及び検査
- カ 優良事業所及び会員の表彰に関する事。
- キ 会員の弔慰見舞に関する事。
- ク その他本会の目的達成上必要と認めた事業

名 称	発 会 年 月 日	加 入 事 業 所 数
いちき串木野市防火管理協会	平成18年5月24日	107
会 長 溜 池 一 孝 副 会 長 吉 尾 逸 郎 ・ 長 友 克 憲		

(5) 危険物安全協会

◎ 目的及び事業

危険物保安対策の研究及び消防思想の普及宣伝並びに防火施設の拡充強化に寄与し、会員相互の融和親睦を図ることを目的として、次の事業を行うものとする。

- ア 消防関係、諸法規の周知徹底に関する事。
- イ 消防思想の普及宣伝に関する事。
- ウ 危険物及び高圧ガスに対する防火及び消防諸施設の視察並びに研究に関する事。
- エ 危険物取扱者の研修に関する事。
- オ 優良事業所及び優良従業員の表彰に関する事。
- カ 会員の弔慰に関する事。
- キ その他、本会の目的達成上必要と認めた事業

名 称	発 会 年 月 日	加 入 事 業 所 数
いちき串木野市危険物安全協会	平成18年5月26日	71
会 長 有 川 亨 副 会 長 寺 田 徳 一 郎 ・ 上 ノ 園 武 士		

IV 火災・救急・救助

火災件数	11件
損害額	13,862千円
死者	0人
負傷者	1人
救急件数	1,431件
搬送人員	1,334人
救助件数	11件
救助人員	8人

2 火災統計

(1) 令和7年中の火災状況 (いちき串木野市・鹿児島県・全国)

区 分	いちき串木野市	鹿児島県 (概数)	全 国 (概数)
火 災 件 数	11	638	40,783
建 物	7	268	22,345
林 野	1	24	1,043
車 両	1	61	3,692
船 舶	0	5	78
航 空 機	0	0	5
そ の 他	2	280	13,620
焼 損 棟 数	12	426	31,931
建 物 焼 損 床 面 積 (m ²)	386	21,592	999,472
建 物 焼 損 表 面 積 (m ²)	75	1,310	119,748
林 野 焼 損 面 積 (a)	9	936	541,288
り 災 世 帯 数	9	230	19,586
り 災 人 員	20	411	39,950
死 者	0	25	1,414
負 傷 者	1	71	5,949
損 害 額 (千 円)	13,862	880,272	105,395,030
建 物	12,098	/	/
林 野	0		
車 両	1,764		
船 舶	0		
航 空 機	0		
そ の 他	0		
爆 発	0		

(2) 過去5年間の年別火災概要

区分 年	火災件数					焼損棟数					焼損面積			死傷者		り災世帯数				り 災 人員	損害額 (千円)	
	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	建 物 床 面 積 m ²	建 物 表 面 積 m ²	林 野 a	死 者	負 傷 者	全 損	半 損	小 損	計			
令和3年	2				8	10		2		2	32	18									2,379	
令和4年	5	1			6	12	2	2	1	5	134	24						1	1	1	4,429	
令和5年	3			1	9	13	1	1	2	4	235	1		2	1			3	4	5	4,819	
令和6年	5	1			7	13	1	1	3	6	183	5	1	2	2	1		2	3	11	23,276	
令和7年	7	1	1		2	11	3		5	4	12	386	75	9	1	2		7	9	20	13,862	
合計	22	3	1	1	32	59	7	1	13	8	29	970	123	10	2	5	4		13	17	37	48,765

(3) 過去5年間の原因別火災発生件数

原因 年	た ば こ	こ ん ろ	風 呂 か ま ど	炉	ス ト ー ブ	こ た つ	電 気 機 器	電 気 装 置	電 灯 ・ 電 話 等 配 線	内 燃 機 関	配 線 器 具	火 あ そ び	マ ツ チ ・ ラ イ タ ー	た き 火	溶 接 機 ・ 切 断 機	灯 火	衝 突 の 火 花	火 入 れ	放 火	放 火 の 疑 い	そ の 他	不 明 ・ 調 査 中	計
令和3年									1					5						2	2		10
令和4年	1	1												5							2	3	12
令和5年		1							4					5								3	13
令和6年							1		2					4					1	1	2	2	13
令和7年		1	1									1		3							3	2	11
合計	1	3	1				1		7			1		22					1	3	9	10	59

(4) 過去5年間の月別火災発生件数

年 月	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	計
1		2		1	3	6
2	1	1	2		2	6
3		3	2	2		7
4	2	1	1			4
5		1	2	1	1	5
6	1			1		2
7	1	1	1	1	1	5
8			1			1
9	1	2	1	3	2	9
10	2		3			5
11		1		1	2	4
12	2			3		5
計	10	12	13	13	11	59

(5) 過去5年間の曜日別火災発生件数

年 月	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	計
日	3		4	2	1	10
月	1	3	1	1	1	7
火	1	2	2	2	2	9
水		1	2		4	7
木	3	3	1		1	8
金	1	2	1	3		7
土	1	1	2	5	2	11
不明						0
計	10	12	13	13	11	59

(6) 過去5年間の時刻別火災発生件数

年 時間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	計
0 ~ 1					1	1
1 ~ 2						0
2 ~ 3						0
3 ~ 4		1				1
4 ~ 5						0
5 ~ 6	1					1
6 ~ 7	1		1			2
7 ~ 8						0
8 ~ 9		2	1	1		4
9 ~ 10	1			1	1	3
10 ~ 11		1				1
11 ~ 12	1	3	2	1	1	8
12 ~ 13	1		3	1	2	7
13 ~ 14	2		2	2		6
14 ~ 15	1	3	1	1	2	8
15 ~ 16				2	1	3
16 ~ 17	1			1	1	3
17 ~ 18		1	2			3
18 ~ 19			1			1
19 ~ 20	1	1				2
20 ~ 21				1		1
21 ~ 22				1	1	2
22 ~ 23						0
23 ~ 24					1	1
不 明				1		1
計	10	12	13	13	11	59

(7) 火災発生時の気象状況

(R 7年中)

月		気象状況												計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
天 気	快晴														
	晴	1	2					1		2		2			8
	曇	2													2
	雨					1									1
	雪														
	不明														
風 速 m/s	無風状態														
	1	1								1					2
	2									1					1
	3	1						1							2
	4		1			1						2			4
	5														
	6		1												1
	7														
	8														
	9～	1													1
	不明														
風 向	北	1													1
	北 北 東	1													1
	北 東									1					1
	東 北 東														
	東														
	東 南 東														
	南 東														
	南 南 東														
	南														
	南 南 西									1					1
	南 西														
	西 南 西					1		1				2			4
	西														
	西 北 西														
北 西		1												1	
北 北 西	1	1												2	
不明															
湿 度 %	10～20														
	21～30														
	31～40														
	41～50	1													1
	51～60		1												1
	61～70	1	1									2			4
	71～80	1						1							2
	81～90									1					1
	91～100					1				1					2
	不明														

(1) 救急業務取扱状況

(R7年中)

	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他	
出 場 件 数			2	62	27	22	231	1	5	782	295			4	1,431
不 搬 送 件 数			1	8		1	16		4	74	1			4	109
搬 送 人 員			1	65	27	21	215	1	1	709	294				1,334
性 別	男			24	6	9	131		1	316	144				631
	女		1	41	21	12	84	1		393	150				703

(2) 傷病程度別搬送状況

(R7年中)

	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
死 亡			1							16	1	18
重 症				2	4		45	1	1	88	71	212
中 等 症				20	14	11	91			404	205	745
軽 症				43	9	10	79			201	17	359
そ の 他												
計			1	65	27	21	215	1	1	709	294	1,334

(3) 疾病分類別搬送状況 (R7年中)

診療科目	搬送人員
循環器系 脳疾患	98
循環器系 心疾患	160
消化器系	110
呼吸器系	77
精神系	20
感覚系	54
泌尿器系	27
新生物	30
打撲・血腫	79
骨折	89
脱臼・捻挫	9
神経・頸椎(髄)損傷	5
創傷	43
内部損傷	1
異物・誤飲	3
溺水	1
熱傷・火傷	0
窒息	1
中毒	2
多発外傷	2
その他	523
合計	1,334

(4) 搬送別状況 (R7年中)

搬送種別	搬送人員
条理搬送	783
依頼搬送	551
合計	1,334

(5) 覚知別出場状況 (R7年中)

覚知別	出場件数
専用(119)	1002
加入電話	396
庁内電話	2
駆け付け	4
現認	1
消防無線	7
その他	19
合計	1,431

(6) 居住地別搬送状況 (R7年中)

居住地別	搬送人員
市内居住者	1130
市外居住者	204
その他	0
合計	1,334

(7) 救急救命処置実施状況 (R7年中)

救急救命処置	男性	女性
気道確保	5	0
除細動	6	0
輸液	15	2
薬剤投与	5	2
合計	31	4

(8) 救命処置実施状況 (R7年中)

救命処置内容	実施件数	
気道確保(気管挿管等)	5	
除細動	6	
輸液	心停止後	13
	心停止前	4
薬剤投与	アドレナリン	4
	ブドウ糖	3
血糖測定	15	
合計	50	

(9) 月別救急出場状況及び搬送人員の状況

(R7年中)

月別	事故種別 区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	不搬送
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他		
1	件数				5	1		17	1		77	24			2	127	16
	人員				6	1		16	1		65	24				113	
2	件数				4	1		18			59	17				99	7
	人員				5	1		17			53	17				93	
3	件数				3	1	1	21		1	62	19				108	9
	人員				4	1	1	20			55	19				100	
4	件数				9	4	4	19			45	27			1	109	10
	人員				9	4	4	17			39	27				100	
5	件数				2	4	1	22			58	21				108	8
	人員				2	4	1	21			51	21				100	
6	件数				5	4	3	14		2	64	24				116	9
	人員				5	4	3	12		1	58	24				107	
7	件数			1	1	2	2	27			71	33			1	138	11
	人員			1	1	2	2	24			64	33				127	
8	件数				9	2	2	10			74	27				124	7
	人員				11	2	2	8			72	27				122	
9	件数			1	4	3	5	21			56	26				116	6
	人員				3	3	5	21			52	26				110	
10	件数				6	1	2	17			64	27				117	5
	人員				5	1	2	17			61	26				112	
11	件数				5		2	22		2	60	24				115	9
	人員				5		1	20			57	24				107	
12	件数				9	4		23			92	26				154	12
	人員				9	4		22			82	26				143	
合計	出場数			2	62	27	22	231	1	5	782	295			4	1,431	109
	搬送員			1	65	27	21	215	1	1	709	294				1,334	

(10) 曜日別救急出場状況

(R 7年中)

曜日	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他の	
日				1	10	1	5	31	1		127	23			1	200
月					5	4	2	34		1	129	41			1	217
火					10	4	3	39			94	45			1	196
水					9	7	3	26			114	43			1	203
木					7	4	1	34		1	106	50				203
金					10	4	1	33		2	105	46				201
土				1	11	3	7	34		1	107	47				211
合計				2	62	27	22	231	1	5	782	295			4	1,431

(11) 現場到着所要時間別出場件数

(R 7年中)

事故種別	現場到着	現場到着所要時間					計	現場到着平均所要時間(分)
		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
急病		8	99	474	188	13	782	8.1
交通事故		1	6	24	25	6	62	10.5
一般負傷		3	26	139	59	4	231	8.2
その他		6	82	215	52	1	356	6.7
合計		18	213	852	324	24	1,431	7.9

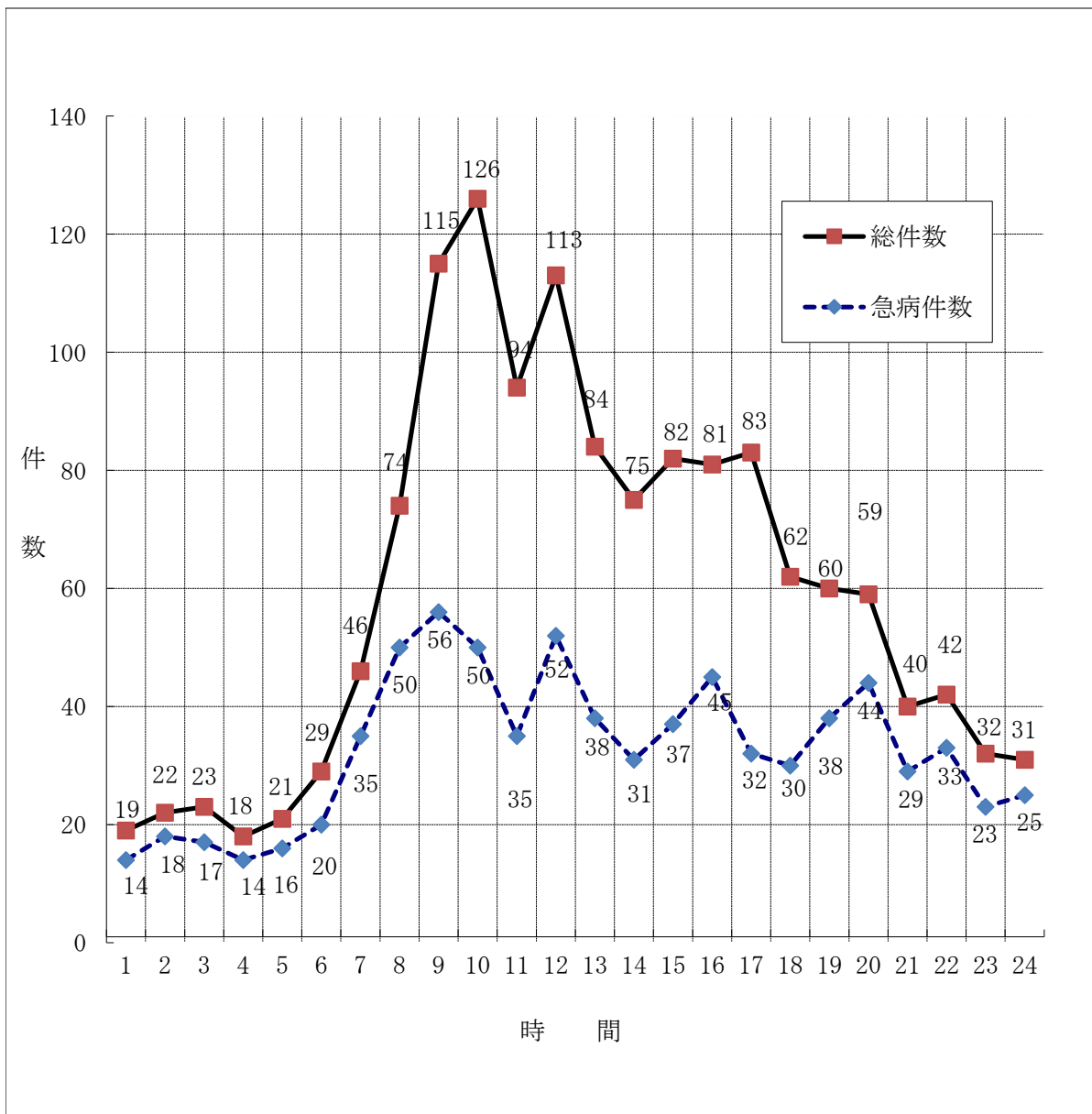
(12) 収容所要時間別搬送人員

(R 7年中)

事故種別	収容所要時間	収容所要時間					計	収容平均所要時間(分)
		10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上		
急病			18	153	415	123	709	42.7
交通事故				11	29	25	65	45.5
一般負傷			6	61	110	38	215	38.8
その他			15	40	265	25	345	47.7
合計			39	265	819	211	1,334	43.4

(13) 時間別出場状況（総件数及び急病件数）

(R 7年中)



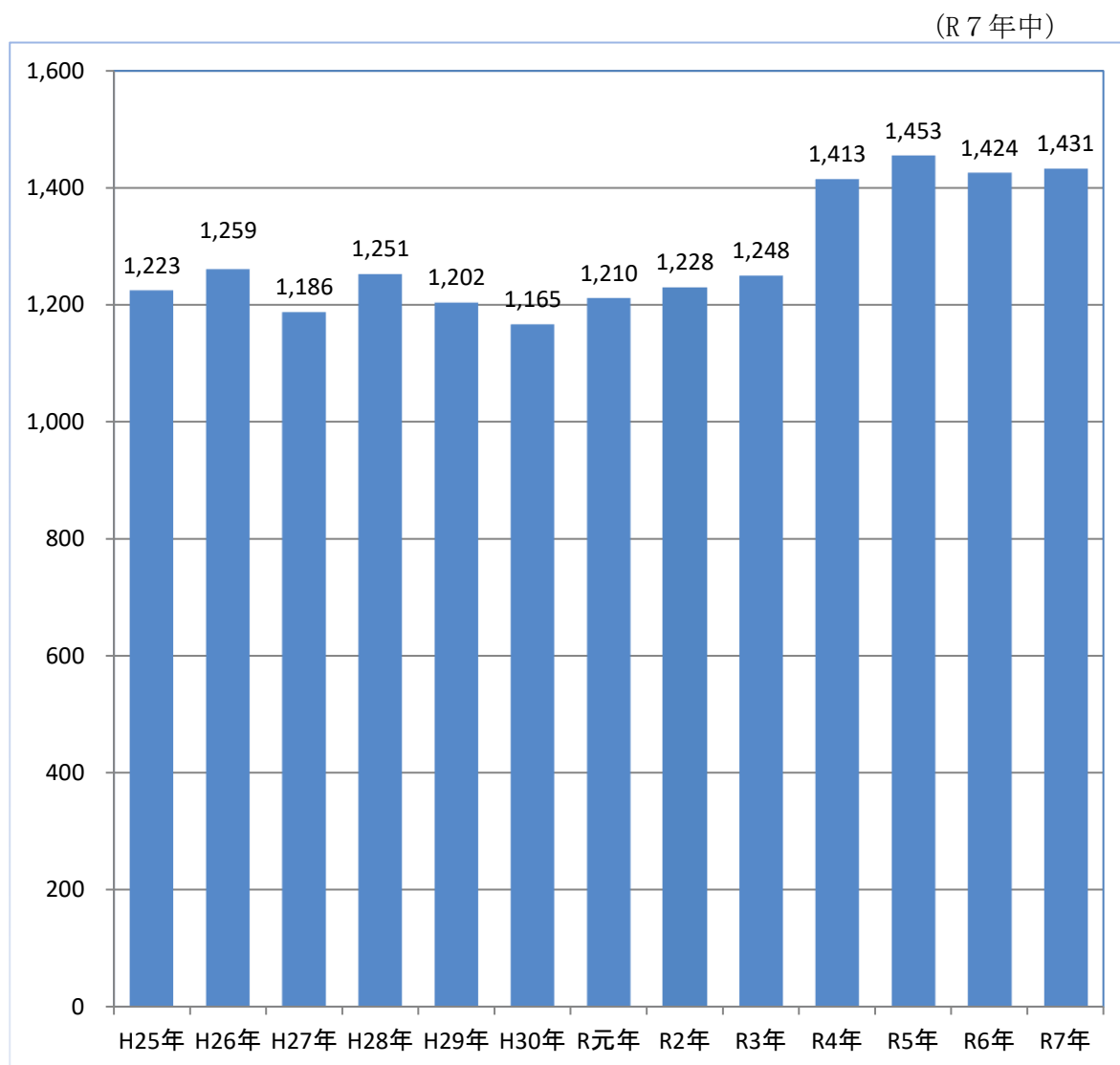
(14) 市別搬送状況（搬送先）

(R 7年中)

搬送先 区分	いちき串木野市	鹿児島市	薩摩川内市	日置市	その他	計
搬送人員	690	292	234	91	27	1,334
比率（％）	51.72	21.89	17.54	6.82	2.02	

※注 比率にあつては、小数点以下第3位を四捨五入しているため、合計が100にならないことがあります。

(15) 救急出場件数の推移



(16) 過去5年間の救急出場状況

(R7年中)

事故種別 年別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
令和3年			3	52	16	10	194	4	8	670	291				1,248
令和4年			1	66	20	15	227	4	9	772	299				1,413
令和5年	2		1	68	19	18	236		11	816	282				1,453
令和6年	1		4	64	31	10	201	4	6	810	291	1		1	1,424
令和7年			2	62	27	22	231	1	5	782	295			4	1,431

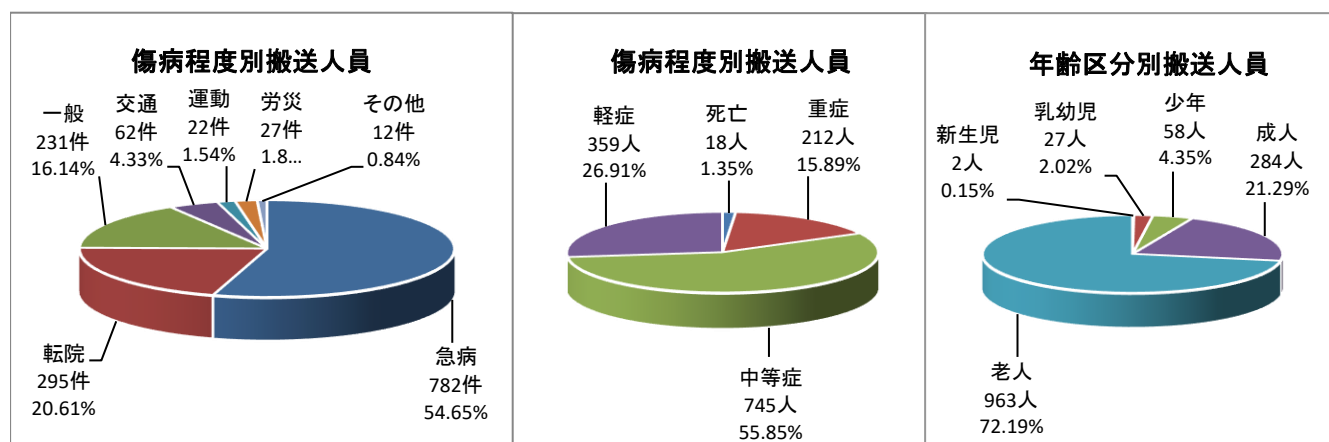
(17) 年齢別搬送人員状況

(R 7年中)

年齢別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
0～9					2		1	9			23	1				36
10～19					11		14	7			21	7				60
20～29					10	2		1			19	1				33
30～39					2	2		1			23	3				31
40～49					7	7		3			29	8				54
50～59					7	6		9	1	1	56	17				97
60～69					6	6		23			80	32				147
70～79			1		9	4	3	45			158	62				282
80～89					9		2	73			213	109				406
90～					2		1	44			87	54				188
計				1	65	27	21	215	1	1	709	294				1,334

(18) 各比率

(R 7年中)



※注 比率にあつては、小数点以下第3位を四捨五入しているため、合計が100にならないことがあります。

※救急出場件数 1,431件
 ※搬送人員 1,334人

※年齢区分
 新生児 (生後28日未満)
 乳幼児 (28日以上7歳未)
 少年 (7歳以上18歳未)
 成人 (18歳以上65歳満)
 老人 (65歳以上)

4 救助業務統計

(1) 救助出動状況

(R7年中)

	月 日	事 故 種 別	災 害 発 生 場 所	出 動 車 両	出 動 人 員	救 助 人 員
1	2/10	建物等事故	湊町2丁目29番地 メゾン・ラ・ブラージュⅡ	1	2	1
2	3/7	建物等事故	大里3945番地 グランベール市来101号室	1	3	1
3	4/23	その他の事故	羽島万福池北側 2号風車北西側100m付近斜面	2	5	1
4	5/7	建物等事故	生福8645番地3	1	3	0
5	6/23	建物等事故	大菌5612番地	2	5	1
6	6/28	交通事故	大里7561番地1北側 農免道路上	2	5	0
7	7/6	その他の事故	大里 戸崎漁港東側砂浜	2	4	0
8	7/12	水難事故	小瀬町 小瀬ドック北側岸壁	3	7	1
9	10/7	その他の事故	湊町56番地	1	2	1
10	11/6	交通事故	羽島849番地1前市道上	3	8	1
11	12/9	その他の事故	川上 新興産業東側山林内	1	2	1
合 計				19	46	8

(2) 過去5年間の救助出動状況

(R7年中)

区 分 \ 年		令 和 3 年	令 和 4 年	令 和 5 年	令 和 6 年	令 和 7 年
出 動 件 数		15	13	16	17	11
活 動 件 数		4	4	11	7	8
救 助 人 員		4	5	13	8	8
事 故 種 別	火 災					
	交 通 事 故	10	10	10	7	2
	水 難 事 故	2	2	1	3	1
	自 然 災 害					
	機 械					
	建 物			1	2	4
	ガ ス ・ 酸 欠					
	爆 発					
	そ の 他	3	1	4	5	4

5 応援協定等の締結状況

(R 8 . 4 . 1 現在)

締結年月日	協 定 先 名	協 定 の 種 類
S36.9.25	いちき串木野警察署	災害救助に関する協定
S45.6.15	串木野海上保安部	船舶火災の消火に関する業務協定 H 6 . 8 . 1 9 一部改正
H9.9.24	日本地下石油備蓄(株)串木野事業所	串木野市と日本地下石油備蓄(株)串木野事業所との応援協定
H10.4.1	薩摩川内市消防局	携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定
H10.6.26	県内各市町村及び各消防本部	鹿児島県消防・防災ヘリコプター応援協定
H12.3.1	いちき串木野市医師会	救急救命士に対する医師の指示に関する協定
H17.11.18	薩摩川内市	消防及び救急業務相互応援協定
H17.12.12	日置市	消防・救急業務相互応援協定
H18.10.25	県内市町村及び消防の一部事務組合	鹿児島県消防相互応援協定
H19.3.1	国土交通省鹿児島国道事務所 県警察本部交通部高速道路交通警察隊 薩摩川内市消防局	南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する覚書
H19.3.2	鹿児島市 日置市 薩摩川内市	南九州西回り自動車道における消防相互応援協定 H 2 7 . 3 . 7 一部改正
H23.12.22	各市町村	鹿児島県ドクターヘリ運行事業における救急搬送に関する相互応援協定
H30.6.20	串木野地区生コンクリート協同組合	災害時における消防用水等の確保に関する協定
R2.6.1	いちき串木野市危険物安全協会	災害時における燃料の供給に関する協定書
R2.7.21	南薩砂利株式会社	災害時における物資供給及び応急対策に関する協定書
R4.4.1	鹿児島プロフーズ株式会社	災害時における消防水利の使用に関する協定

V 機 械 ・ 水 利

消 防 車 両	消防本部（署）・・・・・・・・・・	14台
	消防団・・・・・・・・・・	17台
消 火 栓	・・・・・・・・・・	551基
防 火 水 槽	・・・・・・・・・・	301基
消 防 無 線	基地局・・・・・・・・・・	1基
	固定局・・・・・・・・・・	2基
	陸上移動局（卓上）・・・・・・・・	1基
	陸上移動局（可搬）・・・・・・・・	1基
	陸上移動局（車載）・・・・・・・・	31基
	陸上移動局（携帯）・・・・・・・・	42基

1 基準消防力と現有消防力との比較

(1) 消防本部 (署)

(R 8. 4. 1 現在)

種 別 \ 区 分	基 準	現 有	充足率 (%)	過・不足 (▲)
署所の数	2	2	100	0
人員	93	52	55.9	▲ 41
消防ポンプ車	3	3	100	0
はしご車	1	1	100	0
化学車	1	1	100	0
救急車	2	2	100	0
救助工作車	1	1	100	0
非常用消防自動車	0	0	—	0
非常用救急自動車	1	1	100	0

(2) 消防団

(R 8. 4. 1 現在)

種 別 \ 区 分		基 準	現 有	充足率 (%)	過・不足 (▲)
市街地	動力消防ポンプ	9 口	消防ポンプ車 3 台 6 口	100	0 口
			小型動力ポンプ 3 台 3 口		
準市街地	動力消防ポンプ	15 口	消防ポンプ車 4 台 8 口	80	▲3 口
			小型動力ポンプ 4 台 4 口		
その他	動力消防ポンプ	14 口	消防ポンプ車 3 台 6 口	100	0 口
			小型動力ポンプ 8 台 8 口		
人 員		297 人	225 人	75.8	▲ 72 人

(3) 消防職・団員と市民との割合

(R 8. 4. 1 現在)

種 別 \ 区 分	消 防 職 員 (1 人 当 り)	消 防 団 員 (1 人 当 り)
世 帯 (13,059)	251.1	58.0
人 口 (25,169)	484.0	111.9

2 消防機械器具及び水利状況

(1) 消防署の消防車両状況

(R 8. 4. 1 現在)

種 別	車 種	車 名	車両番号	登録年月	ポンプ性能	排気量	定 員	総重量	長 さ	幅	高 さ	備 考
					(0/分)	(cc)	(人)	(kg)	(cm)	(cm)	(cm)	
水槽付消防ポンプ自動車	日 野	署 タ ン ク 車	鹿児島831 ふ 119	2011年2月	A-2吉谷	6,400	6	10,120	735	227	290	ディーゼル車 石油交付金事業
消防ポンプ自動車	日 野	ポ ン プ 1	鹿児島800 す 6923	2016年2月	A-2森田	4,000	6	6,850	584	192	290	ディーゼル車 石油交付金事業
消防ポンプ自動車	日 野	銀 河 号	鹿児島800 さ 9964	2007年3月	A-2森田	4,000	6	5,370	575	189	280	ディーゼル車 石油交付金事業
梯子付消防自動車	日 野	は し ご 車	鹿児島832 め 119	2021年11月	30m級	8,860	6	19,430	1060	249	362	ディーゼル車 石油交付金事業
化学消防自動車	三 菱	化 学 車	鹿児島88 ゆ 1343	1992年12月	A-2日機 1,600	16,030	7	14,925	830	249	296	ディーゼル車
救助工作車	日 野	救 助 工 作 車	鹿児島800 は 1867	2016年10月		6,400	6	11,510	789	232	315	ディーゼル車 石油交付金事業
指 揮 車	ト ヨ タ	指 揮 車	鹿児島800 す 8433	2018年2月		2,690	8	2,920	538	188	250	ガソリン車 石油交付金事業
広 報 車	ニ ッ サ ン	さ の さ 号	鹿児島501 も 1395	2017年12月		1,990	8	2,070	469	169	186	ガソリン車 寄贈車
高規格救急車	ト ヨ タ	救 急 1 号 車	鹿児島800 せ 2981	2024年2月		2,690	7	3,165	566	189	251	ガソリン車 石油交付金事業
高規格救急車	ト ヨ タ	救 急 2 号 車	鹿児島800 せ 2277	2023年2月		2,690	7	3,165	566	189	252	ガソリン車 石油交付金事業
高規格救急車	ト ヨ タ	救 急 3 号 車	鹿児島800 す 8438	2018年2月		2,690	7	3,215	567	189	249	ガソリン車 石油交付金事業
資機材搬送用支援車	ダ イ ハ ツ	支 援 1 号 車	鹿児島880 あ 2330	2021年3月		650	2	1,430	339	147	193	ガソリン車 原子力防災資機材 (県)貸与品
防 災 活 動 車	三 菱	防 災 活 動 車	鹿児島800 せ 2229	2023年2月		1,490	5	1,815	454	180	183	ガソリン車 寄贈車
資機材搬送車	い す ゞ	支 援 2 号 車	鹿児島800 せ 1634	2022年3月	クレーン付	2990	3	1,960	681	222	272	ディーゼル車 石油交付金事業

(2) 消防団の消防車両及び小型ポンプの状況

ア 串木野地域

(R 8. 4. 1 現在)

分団名	種 別	車 種	車 名	車 両 番 号	登録年月	ポンプ性能	排気量	定員	総重量	長さ	幅	高さ	備 考
						(Q/分)	(cc)	(人)	(kg)	(cm)	(cm)	(cm)	
団本部	指揮連絡車	ニッサン	団本部車	鹿児島832ぬ119	2019年3月		2,480	10	2,480	469	169	210	ガソリン車 石油交付金事業
中央	消防ポンプ自動車	日野	たつまき号	鹿児島800さ8954	2006年3月	A-2 モリタ	4,001	10	4,530	571	188	246	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	すいせい号	鹿児島800す6060	2015年2月		2,980	8	3,010	502	170	233	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2015年2月	B-3 トーハツ 1,420	617						石油交付金事業
本浦	消防ポンプ自動車	トヨタ	あさかぜ号	鹿児島800す6059	2015年2月	A-2 日機 2,300	4,000	10	4,060	573	188	258	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2005年3月	B-3 ラビット 1,400	635						石油交付金事業
照島	消防ポンプ自動車	日野	照月号	鹿児島800さ8956	2006年3月	A-2 モリタ	4,001	10	4,530	567	188	246	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	くろせ号	鹿児島800す6915	2016年2月		2,980	8	3,010	502	171	233	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				2016年2月	B-3 トーハツ 1,400	617						石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2005年3月	B-3 ラビット 1,400	635						石油交付金事業
羽島	消防ポンプ自動車	日野	さちかぜ号	鹿児島800す5209	2013年12月	A-2 モリタ	4,009	10	4,700	559	188	274	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ積載車	ニッサン	あこう号	鹿児島800す745	2008年2月		1,990	9	2,975	497	178	232	ガソリン車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2008年2月	B-3 トーハツ 1,130	526						石油交付金事業
	小型動力ポンプ軽積載車	ダイハツ	軽積載車	鹿児島880あ2672	2024年3月		650	4	1,520	339	148	197	ガソリン車 総務省消防庁寄贈
	小型動力ポンプ				2024年3月	B-3 トーハツ 1,130	500						総務省消防庁寄贈
荒川	小型ポンプ搭載消防自動車	トヨタ	荒星号	鹿児島800す4427	2012年12月	B-2 トーハツ 1,000	4,000	8	3,740	511	169	266	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2026年1月	B-3 トーハツ 1,130	500						石油交付金事業
旭	消防ポンプ自動車	トヨタ	こがね号	鹿児島800す2272	2010年3月	A-2 日機	4,000	10	4,500	573	188	242	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2026年1月	B-3 トーハツ 1,130	500						石油交付金事業
生福	消防ポンプ自動車	日野	生龍号	鹿児島800せ1590	2022年2月	A-2 小川ポンプ	4,000	8	4,620	576	188	255	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2005年3月	B-3 ラビット 1,400	635						石油交付金事業
冠岳	小型ポンプ搭載消防自動車	トヨタ	やまびこ号	鹿児島800す4428	2012年12月	B-2 トーハツ 1,000	4,000	10	4,270	561	188	268	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2026年1月	B-3 トーハツ 1,130	500						石油交付金事業

イ 市来地域

(R8. 4. 1現在)

分団名	種 別	車 種	車 名	車両番号	登録年月	ポンプ性能 (ℓ/分)	排気量 (cc)	定員 (人)	総重量 (kg)	長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	備 考
湊	消防ポンプ自動車	いすゞ	飛 竜	鹿児島800 せ 2261	2023年2月	A-2 森田	2,990	8	4,910	575	189	250	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2005年3月	B-3 ト-ハツ 1420	617						石油交付金事業
川南	消防ポンプ自動車	日 野	蒼 竜	鹿児島800 す 779	2008年2月	A-2 GMいちほら	4,000	10	4,560	572	188	256	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2003年10月	B-3 ト-ハツ 1,440	617						石油交付金事業
川北	消防ポンプ自動車	日 野	海 竜	鹿児島800 せ 1589	2022年2月	A-2 小川ポンプ	4,000	8	4,620	576	188	255	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2005年3月	B-3 ト-ハツ 1420	617						石油交付金事業
川上	消防ポンプ自動車	日 野	昇 竜	鹿児島800 す 1382	2009年1月	A-2 吉谷	4,000	10	4,730	588	188	252	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2007年11月	B-3 ト-ハツ 1,130	526						石油交付金事業

(3) 署・各分団のホース保有状況

(R 8. 4. 1 現在)

署・団	区分	ホース本数			
		40mm	50mm	65mm	小計
消防署		25	77	141	243
分遣所		14	41	45	100
中央		2	18	75	95
本浦		2	20	65	87
照島		2	20	64	86
羽島		6	20	99	125
羽島 (土川班)					
荒川		2	15	47	64
旭		2	5	53	60
生福		2	12	64	78
冠岳		2	10	47	59
湊			10	40	50
川南			10	47	57
川北			10	50	60
川上			10	42	52
合計		59	278	879	1,216

(4) 消防資機材の保有状況

(R8. 4. 1 現在)

車両等別 種別	署 タンク 車	署 ポンプ 2 車	は し ご 車	化 学 車	救 助 工 作 車	指 揮 車	器 材 庫 他	い ち き 分 遣 所	合 計	車両等別 種別	署 タンク 車	署 ポンプ 2 車	は し ご 車	化 学 車	救 助 工 作 車	指 揮 車	資 材 庫 他	い ち き 分 遣 所	合 計							
かぎ付はしご	1		1		1		1	1	5	送排風機					2				2							
三連はしご(二連)	1	(1)			1			1	3(1)	ジェットシューター (ウォーターチャージャー)	6(1)							2	8(1)							
金属製折畳みはしご							1		1	東消式簡易発泡器				1			1		2							
空気式救助マット							1		1	耐電手袋			3		4	2			9							
救命索発射銃					1				1	ストライカー (破壊器具)					1			1	2							
サバイバースリング					2				2	発電機	1		1		2		3	4	11							
各種救助用縛帯			1		1			2	4	投光器	1		1		4		5	1	12							
ボートパワー							1		1	ラインプロポーションナー				1			1		2							
可搬式ウインチ					1		1		2	オイルフェンス(A型)140m							1		1							
エンジンカッター	1				1			1	3	非接触温度計(プロサーモ)					1				1							
溶断器					1				1	ウェアラブルカメラ	1				1	1			3							
チェーンソー	1		1		1		3	2	8	デジタル風位風速計						1			1							
鉄線カッター	1	2	1		2		1	1	8	【車載固定型資機材】																
万能斧(ベンケイ)					3			2	5	車載伸縮式照明装置	1				1				2							
鉄筋カッター					1				1	車載固定型ウインチ					1				1							
可燃性ガス・酸素測定器					2			2	4	車載クレーン					1			1	2							
空気呼吸器	4	3	3	2	5		3	4	24	オートハイドレックス					1				1							
防毒マスク							5		5	【緊急消防援助隊用】																
耐熱服				4					4	寝袋								10	10							
潜水資器材一式							6		6	テント一式								1	1							
救命胴衣	8				4		32	35	79	簡易ベッド								7	7							
救命浮環	1				1		4	2	8	折畳み椅子(テーブル)								5(2)	5(2)							
各種救助用担架			1		4		4	3	12	高機能救命ボート一式								1	1							
携帯拡声器	1	1	2	1	1	2		2	10	【水防資器材等】																
油圧救助器具一式			1		4				5	スコップ	/							20	23	43						
マット型空気ジャッキ一式					2				2	ツルハシ								7							7	7
レシプロソー					1			1	2	鋸								5	2						7	7
車両固定器具					1				1	斧								6	1						7	7
マンホール救助器具					1				1	鎌								3	2						5	5
空気鋸					1				1	掛矢								8	3						11	11
野管用エアータン一式							2		2	ナタ								8	2						10	10
無人航空機一式						1	1		2	土のう								1220	500						1720	1720
簡易画像探索機					1				1	ビニールシート								8	11						19	19
熱画像直視装置					1				1	クイ(鉄・木製)								187	34						221	221
ハンマードリル					1		1		2	造林鎌・鉋								8	2						10	10

(5) 消火薬剤等の保有状況

(R8. 4. 1 現在)

合成界面活性剤（プロフォーム）		1,040 ℓ
フォレックスパン S		160 ℓ
たんぱく泡（エアフォーム3%・6%）		2,160 ℓ
油 吸 着	吸着マット	240 枚
吸 収 材 等	吸着（収）材	30 kg
流出油処理剤		54 ℓ
オイルフェンス（S0-200E）		140 m

(6) 原子力防災資機材の保有状況

(R8. 4. 1 現在)

空気呼吸器（県貸与）		14 基
ポケット線量計	アラーム機能なし	66 個
	アラーム機能あり	51 個
防 護 マ ス ク		135 個（フィルター294個）
防 護 服	アノラック型	416 着
	タイベック型	394 着
防 護 靴		207 足
防護靴（オーバーシューズ）		496 足
防 護 手 袋	ゴ ム 製	499 双
	綿 製	492 双
作 業 帽		801 個
携 帯 用 拡 声 器		15 基
サーベイメータ（ポケット型含む。）		7 基
イ ー ジ ー ア ッ プ テ ン ト		3 張
資 機 材 運 搬 用 車 両		1 台
脚 付 き 両 開 き ボ ー ド		1 台
資 機 材 保 管 庫		3 個
マ ル チ プ ロ ジ ェ ク タ		1 台
ス ク リ ー ン		1 台
エ ア ー テ ン ト		1 式
化 学 防 護 服		5 着
可 搬 型 衛 星 携 帯 電 話		1 式
簡 易 放 送 用 設 備		1 式
空気呼吸器拡声器（充電器含む。）		18 基
デ ジ タ ル カ メ ラ		2 基
ワ イ ヤ レ ス メ ガ ホ ン		1 式
エ ア ー 膨 張 式 投 光 装 置		1 式
空 気 ボ ン ベ 用 空 気 圧 縮 機		1 基

(7) 消防水利の状況 (消防水利の基準に適合しないものも含む。)

ア 串木野地域

(R8. 4. 1 現在)

水利の別		地区別 配管及び水量	中	本	照	羽	荒	旭	生	冠	合
			央	浦	島	島	川		福	岳	計
消 火 栓 (公 設)	350mm		1		1						2
	300mm		7		2						9
	250mm		8	1	2						11
	200mm		8	9	4	1				4	26
	150mm		37	19	20	8	4		7	3	98
	100mm		57	9	21	11	3	4	15	2	122
	75mm		28	7	15	19	5	11	6	3	94
小 計 A			146	45	65	39	12	15	28	12	362
防 火 水 槽 (公 設)	40m ³ 以上		18	4	16	8	7	3	9	5	70
	30m ³ 以上 40m ³ 未満		43	6	18	17	5	10	14	6	119
	20m ³ 以上 30m ³ 未満		2	1	3	1		2		3	12
	20m ³ 未満		5	1		2					8
	(私 設)	40m ³ 以上		2	1						3
小 計 B			70	12	38	28	12	15	23	14	212
プー	40 m ³ 以上		3		3	2	1	1	1		11
河 川	常時取水可能		7	1	3	2	3	1	4	2	23
海 水	常時取水可能			4	1	1					6
小 計 C			10	5	7	5	4	2	5	2	40
総 計 A+B+C			226	62	110	72	28	32	56	28	614

イ 市来地域

(R 8. 4. 1 現在)

水利の別		地区別 配管及び水量	湊	川 南	川 北	川 上	合 計
消 火 栓 (公 設)	200mm	15					15
	150mm	6	8	5			19
	125mm	1					1
	100mm	21	14	19	11		65
	75mm	19	15	11	14		59
	65mm以下	3	5	14	8		30
小 計 A		65	42	49	33		189
防 火 水 槽 (公 設)	40m ³ 以上	22	15	19	23		79
	30m ³ 以上	1	1	1			3
	40m ³ 未満						
	20m ³ 以上			5			5
	30m ³ 未満						
(私 設)	40m ³ 以上			2			2
小 計 B		23	16	27	23		89
プー ル	40 m ³ 以 上		2		1		3
河 川	常時取水可能	5		3	2		10
海 水	常時取水可能						
小 計 C		5	2	3	3		13
総 計 A + B + C		93	60	79	59		291

(8) 消防無線の状況

ア 消防本部

(R 8. 4. 1 現在)

局 別 数	電力	周 波 数	呼 称	設 置 場 所	納品年月	経過年数	会 社 名	再免年月	
基地局	1	20W	① 活動波 1 ② 活動波 2	いくしょうほんぶ	(送受信所) 長城中継所 (通信所) 消防本部		富士通 ゼネラル	R12.5	
固定局	2	500mW	7.5GHz帯周波数 (長城中継所・消 防本部間通信確 保用)	いくしょうちようじょう	長城中継所		日本無線	R9.11	
				いくしょうほんぶ	消防本部				
陸上移動局 (卓上型)	1	10W	① 活動波 1 ② 活動波 2 ③ 統制波 1 ④ 統制波 2 ⑤ 統制波 3 ⑥ 主運用波 3	いくしょうほんぶ 1	消防本部				
陸上移動局 (可搬型)	1			いくしょうかはん 1	いちき分遣所				
陸上移動局 (車載型)	14			いくしょうしき 1	指揮車				
				いくしょうたんく 1	署タンク車				
				いくしょうたんく 2	通信室保管				
				いくしょうぼんぷ 1	ポンプ 1				
				いくしょうぼんぷ 2	銀河号				
				いくしょうかがく 1	化学車				
				いくしょうきゆうじょ 1	救助工作車				
				いくしょうはしご 1	梯子車				
				いくしょうぼうかつ 1	防災活動車				
				いくしょうしえん 1	資器材搬送				
				いくしょうしえん 2	資器材搬送				
				いくしょうきゆうきゆう 1	救急 1 号車				
いくしょうきゆうきゆう 2	救急 2 号車								
いくしょうきゆうきゆう 3	救急 3 号車								
陸上移動局 (携帯型)	27	5W	① 活動波 1 ② 活動波 2 ③ 統制波 1 ④ 統制波 2 ⑤ 統制波 3 ⑥ 主運用波 3	いくしょう 1 1	指揮車	H28.3	10年	富士通 ゼネラル	R12.5
				いくしょう 1 2					
				いくしょう 1 3					
				いくしょう 1 4					
				いくしょう 1 5	署タンク車				
				いくしょう 1 6					
				いくしょう 1 7					
				いくしょう 1 8	救急 1 号車				
				いくしょう 1 9	救助工作車				
				いくしょう 2 1					
				いくしょう 2 2	救急 2 号車				
				いくしょう 2 3					
				いくしょう 2 4					
				いくしょう 2 5	通信指令室				
				いくしょう 2 6					
				いくしょう 2 7					
				いくしょう 2 8					
				いくしょう 2 9	ポンプ 1				
				いくしょう 3 0					
				いくしょう 3 1					
				いくしょう 3 2	救急 3 号車				
				いくしょう 3 3					
				いくしょう 3 4					
				いくしょう 3 5					
				いくしょう 3 6	銀河号				
				いくしょう 3 7					

イ 消防団

(R 8. 4. 1 現在)

局 別	数	電力	周 波 数	呼 称	設 置 場 所	納品年月	経過年数	会 社 名	再免年月
陸上移動局 (車載型)	17	10W	① 活動波 1 ② 活動波 2 ③ 統制波 1 ④ 統制波 2 ⑤ 統制波 3 ⑥ 主運用波 3	いくしょうだんほんぶ 1	団本部 団本部車	H28. 3	10年	富士通 ゼネラル	R12. 5
				いくしょうちゅうおう 1	中央分団 たつまき号				
				いくしょうちゅうおう 2	中央分団 すいせい号				
				いくしょうもとうら 1	本浦分団 あさかぜ号				
				いくしょうてるしま 1	照島分団 照月号				
				いくしょうてるしま 2	照島分団 くろせ号				
				いくしょうはしま 1	羽島分団 さちかぜ号				
				いくしょうはしま 2	羽島分団 積載車				
				いくしょうつちかわ 1	羽島分団 あこう号				
				いくしょうあらかわ 1	荒川分団 荒星号				
				いくしょうあさひ 1	旭分団 こがね号				
				いくしょうせいふく 1	生福分団 生龍号				
				いくしょうかんむりだけ 1	冠岳分団 やまびこ号				
				いくしょうみなと 1	湊分団 飛竜				
				いくしょうかわみなみ 1	川南分団 蒼竜				
				いくしょうかわきた 1	川北分団 海竜				
				いくしょうかわかみ 1	川上分団 昇竜				
陸上移動局 (携帯型)	15	5W	① 活動波 1 ② 活動波 2 ③ 統制波 1 ④ 統制波 2 ⑤ 統制波 3 ⑥ 主運用波 3	いくしょうだんほんぶ 1 1	団本部	H28. 3	10年	富士通 ゼネラル	R12. 5
				いくしょうだんほんぶ 1 2	団本部				
				いくしょうだんほんぶ 1 3	団本部				
				いくしょうちゅうおう 1 1	中央分団				
				いくしょうもとうら 1 1	本浦分団				
				いくしょうてるしま 1 1	照島分団				
				いくしょうはしま 1 1	羽島分団				
				いくしょうあらかわ 1 1	荒川分団				
				いくしょうあさひ 1 1	旭分団				
				いくしょうせいふく 1 1	生福分団				
				いくしょうかんむりだけ 1 1	冠岳分団				
				いくしょうみなと 1 1	湊分団				
				いくしょうかわみなみ 1 1	川南分団				
				いくしょうかわきた 1 1	川北分団				
いくしょうかわかみ 1 1	川上分団								

VI 気 象

年平均気温	19.2°C
-------	-------	--------

年間降水量	1912.5mm
-------	-------	----------

年平均風速	2.8m/s
-------	-------	--------

1 気象観測の状況

(R 7年中) 【観測所：消防署】

月 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
快晴日数	8	2	4	4	2	2	2	2	0	7	9	7	49	
晴天日数	11	13	7	12	11	10	20	19	19	15	9	11	157	
曇天日数	9	10	15	10	14	12	8	9	9	7	9	11	123	
雨天日数	3	1	5	4	4	6	1	1	2	2	3	2	34	
雪日数	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
降水日数	10	10	10	10	13	15	10	9	14	6	6	12	125	
降水量	23.5	54.0	60.5	173.5	303.0	289.0	64.0	559.0	179.0	77.5	76.5	53.0	1912.5	
最大日降水量	6.0	24.5	31.0	112.0	95.0	79.0	21.0	232.0	44.0	48.5	51.0	15.5	最大/日 232.0	
風速	平均	2.8	3.5	3.0	2.9	3.0	2.6	3.3	2.9	2.2	2.1	2.5	2.7	年平均 2.8
	瞬間最大	21.8	24.3	23.8	22.1	20.0	16.8	18.6	26.1	17.9	13.8	22.9	22.0	最大/年 26.1
気温	平均	8.1	7.4	13.7	16.5	20.3	25.6	29.0	29.1	28.3	24.1	16.1	11.7	年平均 19.2
	最高	18.1	19.5	24.7	24.5	27.4	32.3	35.6	34.9	34.3	32.8	25.9	22.1	最高/年 35.6
	最低	0.1	-1.0	3.6	6.9	11.0	15.9	22.9	24.7	21.6	13.1	6.3	0.4	最低/年 -1.0
相対湿度	平均	72.9	72.3	81.0	82.3	86.3	91.9	85.5	93.6	92.5	86.1	76.5	77.9	年平均 83.2
	最高	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	最高/年 99.9
	最低	33.1	35.4	39.3	28.8	25.6	28.8	52.7	54.4	58.4	46.1	39.8	28.5	最低/年 25.6
実効湿度	平均	73.0	71.6	81.6	81.6	86.4	91.5	85.8	93.2	92.4	86.0	76.3	78.2	年平均 83.1
	最高	84.7	92.7	98.7	97.7	99.6	99.8	97.6	99.8	99.2	98.6	98.2	94.7	最高/年 99.8
	最低	55.2	59.0	56.0	58.9	63.7	62.9	71.7	73.4	79.8	63.6	59.8	62.0	最低/年 55.2
現地気圧	平均	1020.1	1020.1	1015.9	1011.8	1010.9	1009.1	1005.7	1009.8	1011.8	1014.8	1018.3	1019.2	年平均 1014.0
	最高	1028.3	1029.7	1026.8	1020.0	1019.2	1018.6	1018.5	1019.8	1022.0	1024.1	1024.7	1024.4	最高/年 1029.7
	最低	1010.6	1006.6	1001.9	998.9	998.1	996.3	990.5	999.6	1000.8	1006.6	1009.2		最低/年 990.5

備考

天候の記録は、午前9時現在の観測である。
 降水日数は、降水量が0.5mm以上あった日数である。
 12月の現地気圧における最低の数値にあつては、機器不良のため標記不可

2 風向の状況

(R7年中)

月 風向	(R7年中)												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
北北東 (NNE)	21.2	14.4	11.4	9.2	9.0	4.2	3.1	4.1	6.6	機器不具合のため 計測不能			
北 東 (NE)	18.7	11.5	17.5	22.7	18.0	16.7	22.9	23.9	26.7				
東北東 (ENE)	2.1	3.6	6.0	6.0	7.7	7.5	33.5	5.2	12.0				
東 (E)	0.8	1.4	2.3	5.9	7.3	5.0	14.5	4.0	4.7				
東南東 (ESE)	0.3	0.3	2.6	2.0	3.5	3.3	3.4	3.1	2.7				
南 東 (SE)	0.3	0.4	3.5	2.2	2.4	9.8	0.9	2.0	3.1				
南南東 (SSE)	0.3	0.2	3.2	2.6	3.4	10.1	0.7	3.2	3.8				
南 (S)	0.3	0.4	3.6	2.9	5.1	8.8	0.5	10.3	6.0				
南南西 (SSW)	0.5	0.5	1.7	2.5	2.8	5.2	1.5	7.6	5.7				
南 西 (SW)	0.7	0.5	3.0	2.2	2.4	4.1	2.2	8.8	4.7				
西南西 (WSW)	2.2	1.6	6.0	5.0	3.4	9.2	5.3	13.7	12.0				
西 (W)	3.2	3.3	5.4	15.3	13.1	9.3	6.3	7.6	4.2				
西北西 (WNW)	6.2	9.9	6.8	7.4	8.2	1.9	2.3	1.9	1.7				
北 西 (NW)	11.8	17.5	8.7	5.4	6.2	2.0	1.0	1.7	1.1				
北北西 (NNW)	12.8	17.3	10.4	3.7	3.8	1.2	0.7	1.4	1.5				
北 (N)	18.8	17.4	8.1	5.1	3.7	1.7	1.3	1.5	3.5				

※ 風向頻度(%)を示す。

VII 付 録

1 串木野市消防本部の沿革

明治36年12月	○串木野村消防組創立
大正5年9月	○腕用ポンプ購入
大正5年	○市来村湊町に公設消防組を組織（他の地域は、私設消防組を組織）
大正9年	○青年団により私設の島内消防組を組織（鳶口10丁、水汲み用木製ツルベ10個、梯子1つを配備）
昭和6年10月	○行幸記念事業で手引ガソリンポンプ購入
昭和9年5月	○消防ポンプ自動車（フォード）購入
6月	○優良消防組として県知事表彰を受ける。
昭和10年4月	○町制施行により串木野町消防組に改称
昭和14年4月	○内務省令により串木野町警防団（7分団）に改称 ○市来町警防団を結成（4分団）
昭和20年6月	○中央分団地区から本浦地区を分離し、水上分団を設立
昭和22年8月	○警防団の組織を串木野町消防団（8分団）、市来町警防団（4分団）として改編
昭和23年5月	○串木野町消防団常備部発足（部員12名、消防車〔フォード〕1台）
9月	○電話器が常備詰所に設置される。
昭和25年8月	○優良消防団として消防庁長官表彰を受ける。
10月	○市制施行により串木野市消防団と改称
昭和26年4月	○常備部団員定員14名となる。（2名増員）
昭和29年1月	○常備部詰所を浜田通りロータリー南西角に移転（現在の旭町1番地）
3月	○常備部に消防ポンプ自動車（日産）を購入
4月	○串木野市消防本部・消防署設置（職員定数15名） 初代消防長 大園純夫 就任
10月	○消防職員1名採用（実員15名）
昭和30年6月	○中央分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入し、運搬車を照島分団に配置替
8月	○水上分団及び照島分団に小型動力ポンプ（ラビット）を購入
9月	○消防団定数条例改正 237名となる。 ○水上分団を本浦分団に改称
昭和31年5月	○消防職員1名採用（実員15名）
昭和31年10月～	○生福、旭、羽島、荒川、冠岳、中央の各分団に小型動力ポンプ、本浦分団に運搬車を購入
昭和32年10月	
昭和33年4月	○消防団定数条例改正 227名となる。
6月	○消防職員1名採用（実員15名）
11月	○第1回串木野市消防操法技能競技大会を実施
昭和34年6月	○消防職員1名採用（実員15名）
昭和34年7月～	○照島分団に運搬車、本浦・照島分団に小型動力ポンプ、消防署に水槽付ポンプ
昭和35年10月	自動車を購入
昭和36年4月	○消防職員1名採用（実員16名）
9月	○串木野警察署と「災害救助に関する協定」を締結
昭和37年4月	○中央分団に運搬車、照島分団別府班に小型動力ポンプを購入
昭和38年11月	○本浦分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入し、運搬車を旭分団に配置替
昭和39年2月	○本浦分団及び照島分団別府班のポンプ庫を新築
5月	○羽島分団土川班に小型動力ポンプを購入
昭和40年4月	○消防職員1名採用（実員17名）
7月	○消防団定数条例改正 204名となる。

昭和40年	7月	○串木野局の電話自動化により119番の専用線を開設
昭和41年	2月	○日本消防協会より、消防団表彰旗を授与される。
	4月	○消防職員1名採用（実員17名）
	7月	○第2代消防長 大久保重雄 就任
		○消防職員1名市役所から転入（実員17名）
	11月	○消防署に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入し、昭和29年3月購入の消防ポンプ自動車（日産）を羽島分団に配置替
昭和42年	1月	○羽島分団の車庫を羽島5, 237番地に新築
	7月	○消防職員1名市役所から転入（実員18名） ○市来町・東市来町との消防相互応援協定を締結
	8月	○中央分団に小型動力ポンプを購入 ○消防団定数条例改正 210名となる。
	9月	○消防職員1名採用（実員19名）
昭和43年	2月	○消防署に救急自動車（日産セドリック）を購入、任意で救急業務を開始
	3月	○消防職員1名採用（実員20名）
	5月	○川内市と消防相互応援協定を締結
	12月	○生福分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入
昭和44年	3月	○消防無線局を開設
	4月	○消防職員1名市役所から転入（実員21名）
	11月	○照島分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入（運搬車を廃車）
	12月	○市来町・東市来町との救急業務応援協定を締結
昭和45年	1月	○消防職員1名採用（実員21名）
	4月・5月	○川内市と救急業務相互応援協定、里村・上甕村と救急業務応援協定を締結
	6月	○串木野海上保安部と「船舶火災の消火に関する業務協定」を締結
昭和46年	3月	○旭分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（運搬車を廃車）
	6月	○消防法施行令の一部改正により本市の救急業務実施が義務化
	7月・8月	○樋脇町と消防相互応援協定並びに救急業務応援協定、下甕村と救急業務応援協定を締結
	9月	○消防職員1名採用（実員22名）
昭和46年	10月	○第3代消防長 入江 森 就任
	11月	○消防職員1名採用（実員22名） ○中央分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入（更新）
昭和47年	2月	○市合同庁舎が昭和通133番地1に新築され、消防本部・署も移転 ○中央分団の車庫詰所を旭町1番地2に新築
	3月	○優良消防機関（消防本部・消防団）として消防庁長官表彰を受ける。
	8月	○荒川分団の車庫詰所を荒川2, 347番地に新築
	12月	○冠岳分団の車庫詰所を冠岳12, 984番地2に新築 ○冠岳分団に消防ポンプ自動車（日産）、羽島分団に小型動力ポンプを購入
昭和48年	2月	○鹿島村と救急業務応援協定を締結
	3月	○生命保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	7月	○日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署に配置 ○消防職員1名採用（実員23名）
	9月	○消防職員1名採用（実員24名）

昭和48年	1月	○荒川分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入 ○旭分団の車庫詰所を下名14, 105番地に新築
昭和49年	4月	○消防職員1名採用（実員24名）
	11月	○羽島地区の電話自動化により119番専用線を開設
	12月	○羽島分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
昭和50年	9月	○照島分団の車庫詰所を下名7, 574番地1に新築
	10月	○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
	12月	○中央分団に運搬車（トヨタ）を購入（更新）
昭和51年	4月	○羽島分団の車庫に隣接して詰所を新築
	6月	○消防団本部に赤バイ（ヤマハ250cc）を購入
	7月	○本浦分団及び生福分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	10月	○本浦分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新） ○市来町消防団役場分団結成 日本消防協会から可搬動力ポンプ積載車の寄贈及び松下町長の命を受け、 17名で発足する。
	12月	○職員定数条例改正 26名となる。
昭和52年	4月	○消防職員3名採用（実員26名）
	9月	○日本消防協会から救急自動車の寄贈を受ける。 ○旭、照島分団に小型動力ポンプを購入（更新）
昭和53年	3月	○職員定数条例改正 28名となる。
	4月	○消防職員2名採用（実員28名）
	5月	○荒川分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	7月	○羽島分団土川班に小型動力ポンプを購入（更新）
	10月	○日本防火協会から広報車の寄贈を受ける。
昭和54年	3月	○羽島分団土川班のポンプ庫詰所を羽島9, 675番地に新築
	4月	○消防職員2名採用（実員30名）
	6月	○照島分団及び照島分団別府班に小型動力ポンプを購入（更新）
	8月	○荒川分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	9月	○荒川分団の小型動力ポンプ（53年5月購入分）を旭分団に配置替
昭和54年	11月	○消防署に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新） ○本浦分団の車庫詰所を西浜町1番地に新築
昭和55年	1月	○第4代消防長 軍神 計 就任
	6月	○中央分団に小型動力ポンプを購入（更新）
昭和55年	7月	○冠岳分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	12月	○生福分団の車庫詰所を上名9, 129番地に新築
昭和56年	2月	○日本自動車工業会から救急車の寄贈を受ける。
	4月	○消防職員2名採用（実員29名）
	5月	○川内地区消防組合と「消防及び救急業務応援協定」を締結（川内市との従前の協定を破棄）
	8月	○第1回串木野市消防団規律訓練大会を実施
昭和57年	3月	○甕島4村及び樋脇町との救急業務応援協定を破棄
	10月	○日置地区消防組合と「消防・救急業務応援協定」を締結（従前の協定を破棄）

昭和57年11月	○生福分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
昭和58年12月	○照島分団別府班のポンプ庫詰所を下名3, 362番地2に新築
昭和59年2月	○消防本部・署の庁舎を昭和通133番地1に新築し移転
4月	○指宿地区消防組合と「消防無線使用時の混信に関する協定」を締結
11月	○照島分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
昭和60年3月	○第5代消防長 植屋一郎 就任
4月	○消防職員1名採用（実員28名） ○串木野ライオンズクラブから指揮連絡車（日産）の寄贈を受け、消防署に配置
10月	○中央分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
昭和61年10月	○消防職員条例定数改正 31名となる。 ○羽島分団土川班に小型動力ポンプ積載車（トヨタ）を購入
12月	○市来町・樋脇町と「消防相互応援協定」を締結 ○川南分団に消防ポンプ自動車を購入（更新）
昭和62年4月	○消防職員4名採用（実員31名）
10月	○消防署に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
12月	○川上分団に消防ポンプ自動車を購入（更新）
昭和63年12月	○旭分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
平成元年2月	○消防署に救急車（トヨタ）を購入（更新）
4月	○消防職員1名採用（実員31名）
10月	○消防職員条例定数改正 34名となる。 ○冠岳分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
平成2年1月	○コアガス鹿児島㈱から救急車（トヨタ）の寄贈を受ける。
4月	○消防職員3名採用（実員34名）
10月	○消防職員条例定数改正 38名となる。 ○消防署にはしご付消防自動車（24m級）を購入 ○荒川分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
平成3年3月	○串木野市消防団条例の全部改正
4月	○消防職員2名採用（実員36名）
平成3年9月	○消防職員1名採用（実員37名） ○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
平成4年1月	○鹿児島県消防相互応援協定締結
3月	○羽島分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
8月	○日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車（いすゞ）の寄贈を受け、中央分団に配置 ○石油コンビナート等特別防災区域指定 ○本浦分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
10月	○消防庁舎の車庫、倉庫を増改築
11月	○昭和50年に購入した中央分団の運搬車を消防署に配置替 ○消防署に化学消防ポンプ自動車（三菱）を購入
平成5年3月	○中央分団の車庫詰所を旭町1番地2に中央地区コミュニティ消防センターとして新築

平成 5 年	4 月	○第 6 代消防長 俣木一幸 就任 ○消防職員 3 名採用（実員 3 7 名） ○役場分団に小型動力ポンプ積載車を購入（更新）
平成 6 年	3 月	○荒川分団の車庫詰所を荒川 2, 4 5 0 番地に新築
	4 月	○消防職員 1 名採用（実員 3 7 名） ○串木野海上保安部と「船舶火災の消火に関する業務協定」の一部改正
	8 月	○鹿児島県消防相互応援協定の一部改正
	1 0 月	○照島分団別府班に小型動力ポンプ積載車（トヨタ）を購入（更新）
平成 7 年	2 月	○旭分団の車庫詰所を下名 1 4, 1 0 3 番地 1 5 に旭地区コミュニティ消防センターとして新築
	3 月	○冠岳分団の車庫詰所を冠岳 1 2, 9 8 4 番地 2 に冠岳地区コミュニティ消防センターとして新築
	4 月	○第 7 代消防長 尾崎正躬 就任 ○消防職員 2 名採用（実員 3 8 名）
平成 8 年	3 月	○照島分団の車庫詰所を東島平町 4 1 7 番地 1 に照島地区コミュニティ消防センターとして新築 ○団本部に指揮連絡車（トヨタ）を購入
	4 月	○消防職員 1 名採用（実員 3 8 名） ○日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け消防署に配置
	8 月	○生福分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新） ○本浦分団、生福分団に小型動力ポンプを購入（更新）
平成 9 年	1 月	○消防署に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
	3 月	○羽島分団の車庫詰所を羽島 5, 2 1 8 番地に羽島コミュニティ消防センターとして新築
	4 月	○第 8 代消防長 植ノ原敬一 就任 ○消防職員 1 名採用（実員 3 8 名）
	9 月	○日本地下石油備蓄(株)串木野事業所と応援協定を締結
	1 1 月	○中央仮設株式会社から指揮広報車の寄贈を受け消防署に配置
	1 2 月	○湊・川北分団に消防ポンプ自動車を購入（更新）
平成 1 0 年	1 月	○羽島分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	2 月	○旭分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	4 月	○川内地区消防組合と「携帯電話等からの 1 1 9 番通報転送等に関する協定」を締結
	8 月	○日本消防協会から軽可搬ポンプ付軽積載車の寄贈を受ける。
	1 2 月	○照島分団に小型動力ポンプを購入（更新）
平成 1 1 年	4 月	○第 9 代消防長 橋之口博繁 就任 ○消防職員 1 名採用（実員 3 8 名）
平成 1 2 年	3 月	○串木野市医師会と「救急救命士に対する医師の指示に関する協定」を締結 ○本浦分団車庫詰所を西浜町 1 番地 2 に本浦地区コミュニティ消防センターとして新築（平成 1 1 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	1 1 月	○消防署に小型動力ポンプ付積載車を購入 （平成 1 2 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○高規格救急自動車を購入し、平成 1 3 年 1 月 1 日運用開始

	(平成12年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成12年11月	○気象情報収集装置を整備(平成12年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
12月	○鹿児島県より原子力防災資機材として軽トラック(運搬車)の貸与を受け、消防署に配置
平成13年4月	○第10代消防長 平石耕二 就任
	○消防署に救急車(トヨタ)を購入(更新)
12月	○荒川、旭、冠岳分団に小型動力ポンプ(B3級)を購入 (平成13年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成14年9月	○旭分団芹ヶ野ポンプ庫撤去
平成15年4月	○第11代消防長 福菌照雄 就任
	○消防職員1名採用(実員38名)
	○川南・川上分団に小型動力ポンプを購入(更新)
7月	○串木野・市来合併協議会が設置され、消防本部は消防防災分科会を担当
10月	○生福地区コミュニティ消防センターの建設用地(上名6,660番1外2筆・面積452.33㎡)を購入(平成15年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成16年4月	○串木野市消防本部の組織等に関する規則の一部改正 「施設装備係」を「救急救助係」に改めるとともに、消防本部の事務分掌も一部改めた。
10月	○湊・川北分団に小型動力ポンプを購入(更新)
平成17年2月	○日置地区消防組合と「川内道路における消防相互応援協定」を締結
3月	○国土交通省鹿児島国道事務所・県警察本部交通部高速道路交通警察隊・日置地区消防組合と「南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する協定」を締結(3月13日 串木野・市来区間開通)
	○生福分団の車庫詰所を上名6,660番地1に生福地区コミュニティ消防センターとして新築(平成16年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	○本浦分団、照島分団、生福分団に小型動力ポンプ(B3級)を購入 (平成16年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	○簡易地図検索装置を整備 (平成16年度緊急地域雇用創出特別基金事業及び原子力防災資機材)
平成17年4月	○第12代消防長 野田 豊 就任

2 串木野市消防本部の歴代消防長

代	就任年月	退任年月	氏名
初代	昭和29年 4月	昭和41年 6月	大 園 純 夫
第2代	昭和41年 7月	昭和46年 9月	大 久 保 重 雄
第3代	昭和46年10月	昭和54年12月	入 江 森
第4代	昭和55年 1月	昭和60年 3月	軍 神 計
第5代	昭和60年 3月	平成 5年 3月	植 屋 一 郎
第6代	平成 5年 4月	平成 7年 3月	俣 木 一 幸
第7代	平成 7年 4月	平成 9年 3月	尾 崎 正 躬
第8代	平成 9年 4月	平成11年 3月	植ノ原敬一
第9代	平成11年 4月	平成13年 3月	橋之口博繁
第10代	平成13年 4月	平成15年 3月	平 石 耕 二
第11代	平成15年 4月	平成17年 3月	福 藺 照 雄
第12代	平成17年 4月	平成17年10月	野 田 豊

3 歴代消防団長

(1) 旧串木野市

	代	就任年月	退任年月	氏名
消防組	初代	明治36年12月	明治44年5月	中尾浅助
	第2代	明治44年6月	大正5年7月	江藤千代藏
	第3代	大正5年7月	大正5年11月	松元幸助
	第4代	大正5年11月	大正11年6月	折田金次郎
	第5代	大正11年6月	昭和5年10月	池田良之助
	第6代	昭和5年10月	昭和14年3月	江藤千代藏
警防団	第7代	昭和14年4月	昭和14年9月	田尻森吉 (町長兼務)
	第8代	昭和14年10月	昭和19年4月	江藤千代藏
	第9代	昭和19年4月	昭和22年7月	花牟禮武夫
消防団	第10代	昭和22年8月	昭和26年8月	富宿與助
	第11代	昭和26年8月	昭和30年7月	福山盛吉
	第12代	昭和30年8月	昭和37年3月	富宿與助
	第13代	昭和37年4月	昭和43年3月	須崎 巽
	第14代	昭和43年4月	昭和47年3月	寺師彦好
	第15代	昭和47年4月	昭和63年3月	益満利幸
	第16代	昭和63年4月	平成16年3月	網屋長行
	第17代	平成16年4月	平成17年10月	岡田正治

(2) 旧市来町 (※ 昭和14年4月に警防団を結成、初代団長は井上新吉でその他については、不明)

	代	就任年月	退任年月	氏名
消防団	初代	昭和22年8月	昭和52年4月	田崎勇藏
	第2代	昭和52年5月	昭和57年6月	白石久治
	第3代	昭和57年6月	昭和59年4月	久木菌耕平
	第4代	昭和59年5月	平成3年9月	西ノ園厚志
	第5代	平成3年10月	平成5年3月	前田二夫
	第6代	平成5年4月	平成9年3月	新村明
	第7代	平成9年4月	平成17年10月	山元幸夫

(3) いちき串木野市

代	就任年月	退任年月	氏名
初代	平成17年10月	平成25年3月	岡田正治
第2代	平成25年4月	平成29年3月	井手迫正昭
第3代	平成29年4月	平成31年3月	大迫修藏
第4代	平成31年4月	現在	西村博孝



火 事 と 救 急 は

1 1 9 番

いちき串木野市消防本部

鹿児島県いちき串木野市昭和通 133-1

〒896-8601 電 話 0996 (32) 0 1 1 9

F A X 0996 (32) 4 3 9 6